

■9月9日（金）午前

会場	講堂
	S3. 関東盆地の地質・地殻構造とその形成史
	座長：小田原 啓 (1-4), 水野清秀 (5-8), 佐藤比呂志 (9-12)
9:00	<p>9:00 S3-O-1 (招待) MeSO-netによる首都圏の地震活動とプレート構造. 平田 直・酒井慎一・中川茂樹・加藤愛太郎・蔵下英司・楠城一嘉・バナヨトブロス ヤニス・小原一成・笠原敬司・明田川保・木村尚紀</p> <p>9:15 S3-O-2 関東地域の地下構造調査：堆積盆地からプレートまで. 佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子・蔵下英司・石山達也・中山俊雄・伊藤谷生・浅尾一己・木村尚紀・阿部 進・川崎慎治・斉藤秀雄・溝畑茂治・川中 卓・太田陽一・須田茂幸・大西正純・井川 猛</p> <p>9:30 S3-O-3 (招待) 海域反射法地震探査断面による深部構造と房総沖地震活動との比較. 三浦誠一・山下幹也・藤江 剛・野 徹雄・高橋成実・小平秀一・小林励司</p> <p>9:45 S3-O-4 (招待) 房総半島中央部での反射法地震探査と地表地質. 浅尾一己・伊藤谷生</p> <p>10:00 S3-O-5 (招待) 房総半島テクトニクス解明の新たな展望. 伊藤谷生・浅尾一己・佐藤比呂志</p> <p>10:15 S3-O-6 伊豆衝突帯, 足柄地域の地質構造. 小田原 啓・林 広樹</p> <p>10:30 S3-O-7 (招待) 地表・地下に分布する第四紀テフラの対比と関東平野西南部の発達史. 鈴木毅彦</p> <p>10:45 S3-O-8 (招待) 関東平野中央部の第四系の地質構造と地層形成. 木村克己・水野清秀・山口和雄・松島紘子・小松原純子</p> <p>11:00 S3-O-9 (招待) 屈折・反射法弾性波探査による東京都の地下構造. 中山俊雄</p> <p>11:15 S3-O-10 (招待) 南関東の伏在逆断層と第四紀テクトニクス. 石山達也・佐藤比呂志・中山俊雄・加藤直子・阿部 進</p> <p>11:30 S3-O-11 (招待) 関東地域における巨大地震・津波の履歴. 宍倉正展</p> <p>11:45 S3-O-12 (招待) 日本列島域におけるプレート間相互作用による関東地方の長期地殻変動のシミュレーション. 橋間昭徳・佐藤利典・伊藤谷生・宮内崇裕</p>

人文10
T7: Rocks and mineral resources of Mongolia and Northeast Asia (Joint session with SRG and Mongolian SEG)
Chairpersons: Yasuhito Osanai (01-04), Yasushi WATANABE (05-06), M. Satish-Kumar (07-09)
<p>9:00 T7-01 Multi-event metamorphism of eclogite and associated metamorphic rocks in the Lake Zone, southwest Mongolia. Javkhlan Otgonkhuu・Akira Takasu・Bat-Ulzii Dash</p> <p>9:15 T7-02 Paleozoic subduction and collision magmatism in west Mongolia: Evidence from geochronology and geochemistry of the intrusive rocks. Masaaki Owada・Yasuhito Osanai・Nobuhiko Nakano・Tatsuro Adachi・Kazuhiro Yonemura・Aya Yoshimoto・S. Jargalan・C. Boldbaatar・M. Satish-Kumar</p> <p>9:30 T7-03 Jurassic accretionary terranes distributed along the eastern margin of the Asian Continent and their tectonic implications. Weimin Li・Akira Takasu・Yongjiang Liu・Yingli Zhao・Guoqing Han</p> <p>9:45 T7-04 Metamorphic history of the eclogites in the Besshi district, Sambagawa metamorphic belt, central Shikoku, Japan. Md Fazle Kabir・Akira Takasu・Tuyoshi Sakurai・Yasua Okamoto・Nana Hirashita・Minako Suto</p> <p>10:00 T7-05 (Invited) Mineral resources of Mongolia. D. Bat-Erdene</p> <p>10:15 T7-06 (Invited) Geology, genesis of gold mineralization in Mongolia. S. Jargalan</p> <p>10:30 T7-07 Vein type gold deposit at the Tsagaan Tsahir Uul in the Bayankhongor belt, Mongolia: Features of mineralization and oxygen isotope. Davaa-Ochir Dashbaatar・Ken-ichiro Hayashi</p> <p>10:45 T7-08 Mineralization Sequence of Gatsuurt Gold deposit in North Khentei gold belt, Central Northern Mongolia. Chinbat Khishgee・Masahide Akasaka・Jargalan Sereenen</p> <p>11:00 T7-09 Rare earth mineralization in Mongolia. Yasushi WATANABE</p>

人文11
R1: 鉱物記載・分析評価
座長：宮脇律郎 (01-04), 下林典正 (05-08), 宮島 宏 (09-12)
<p>9:00 R1-01 鳥根県邑南町大林鉱山の含銀鉱物. 赤坂正秀・高橋 桜</p> <p>9:15 R1-02 和歌山県串本町田子海岸に産するsideronatrite. 石橋 隆・下林典正</p> <p>9:30 R1-03 シベリア石の合成. 狩野正裕・逸見千代子</p> <p>9:45 R1-04 広島県東城町久代産汚染岩中のネフェリンの沸石化. 矢野裕美・木股三善・越後拓也・星野美保子・草地 功・昆 明慶・清水雅浩・西田憲正</p> <p>10:00 R1-05 群馬県沼田市産melanotekiteとwillemite. 山田 隆・塩原嘉昭・平間敏之</p> <p>10:15 R1-06 千葉県木更津市産メラノフロジャイト. 門馬綱一・宮脇律郎・松原 聰・横山一己・重岡昌子・高橋直樹・鴻田昌彦</p> <p>10:30 R1-07 石英結晶からメノウへの結晶粒の細粒化のTEM観察. 長瀬敏郎・栗林貴弘</p> <p>10:45 R1-08 新鉱物・Ehimeite NaCa₂Mg₄CrSi₆Al₂O₂₂(OH)₂. 浜根大輔・大西政之・皆川鉄雄・山浦淳一・斉藤昇平・門田 亮</p> <p>11:00 R1-09 南極から新鉱物「マグネシオヘグボマイト2N 4S」の発見：特にヘグボマイト類の構造式について. 志村俊昭・赤井純治・Lazic Biljana・Armbruster Thomas・清水正明・亀井淳志・東田和弘・大和田正明・柚原雅樹</p> <p>11:15 R1-10 三重県菟野町産花崗岩ベグマタイト中のローランド石 (rowlandite-(Y)) Mg置換体. 松原 聰・宮脇律郎・横山一己・重岡昌子・山本貞典</p> <p>11:30 R1-11 カナダBenjamin Riverアパタイト-普通輝石-磁鉄鉱鉱床における希土類元素鉱物の形成過程. 星野美保子・渡辺 寧・実松健造・昆 慶明</p> <p>11:45 R1-12 TESマイクロカオリメータEDS-SEMによる希土類元素分析. 上原誠一郎・高井康宏・白勢洋平</p>

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月9日（金）午前

会場	人文13	人文14	人文15
	T1: 岩石-水相互作用 (共催: 資源地質学会)	T8: モホ点描-超深部掘削計画で何がみえてくるのか?	T3: 東日本における活火山の長期活動評価と防災対策
	座長: 藤本光一郎 (01-03), 土屋範芳 (04-07), 奥山康子 (08-10)	座長: 道林克禎 (01-04), 阿部なつ江 (05-08), 道林克禎 (09-12)	座長: 長谷川 健・大場 司 (01-10)
9:00	9:00 T1-01 オーストラリアクーパーペーズンにおける地熱流体. 柳澤教雄・Ngothai Yung・Wyborn Doone	9:00 T8-01 海洋地殻掘削進捗状況 - モホール計画現状について -. 阿部なつ江・Ildefonse Benoit・Teagle Damon・Scientific Party IODP Exp. 335	9:00 T3-01 浅間・烏帽子火山群, 最初期～前期の火山活動史. 西来邦章・高橋 康・松本哲一
	9:15 T1-02 深部塩水帯水層へのCO ₂ 地中貯留でのドーソン石出現条件-地化学シミュレーション結果の再検討-. 奥山康子・戸高法文	9:15 T8-02 モホール超深部掘削における孔内物性計測 (ロギング) の重要性和手法改善-開発の必要性について. 富永雅子・阿部なつ江	9:15 T3-02 テフラを基にした統計的火山活動評価: 男体火山の活動史. 及川輝樹・竹下欣宏
	9:30 T1-03 水熱環境下における方解石析出の実験的検討. 武者倫正・土屋範芳・岡本 敦	9:30 T8-03 微生物分子温度計: 地下圏の温度プロファイリング. 木村浩之・道林克禎	9:30 T3-03 カルデラ火山における噴火後の決壊洪水とラハール災害. 片岡香子
	9:45 T1-04 エジプトのレアアース鉱床の産状と資源ポテンシャル. 渡邊公一郎・米津幸太郎・新川達也・中野伸彦・小山内康人	9:45 T8-04 表層環境地球化学者からみた超深部掘削計画. 高橋嘉夫	9:45 T3-04 東北日本, 蔵王火山, 熊野岳アグルチネート活動時のマグマ供給系の進化. 武部義宜・伴 雅雄
	10:00 T1-05 砂岩の透水特性と鉱物-水反応面積: 水飽和率の影響. 西山直毅・横山 正	10:00 T8-05 モホの岩石学的イメージング: 海洋底そして日本列島. 荒井章司	10:00 T3-05 栗駒火山南麓に分布する中期更新世火砕堆積物の層序. 葛巻貴大・大場 司
	10:15 T1-06 熱水性シリカ鉱物の形成条件とモルフォロジー. 磯部博志	10:15 T8-06 M 9 巨大地震とオフィオライト・高圧変成帯の衝上. 石渡 明	10:15 T3-06 最近3,000年における鳥海火山の爆発的噴火活動および熱水系の発達. 大場 司・林 信太郎・近藤 梓・鈴木真悟・葛巻貴大・古木久美子・伴 雅雄
	10:30 T1-07 Al濃度に依存するシリカ鉱物析出速度式の提案と鉱物脈形成に関する考察. 最首花恵・岡本 敦・土屋範芳	10:30 T8-07 (招待) 地震学的に見た海洋地殻, マントル, モホ. 小平秀一・藤江剛・山下幹也	10:30 T3-07 岩手火山における約10万年間のマグマ噴出率. 伊藤順一・住田達哉
	10:45 T1-08 三波川帯高変成度泥質岩に認められた複数段階の流体活動. 吉田健太・平島崇男	10:45 T8-08 海洋モホ面でのレオロジーの不連続性. 片山郁夫・東 真太郎・武藤 潤	10:45 T3-08 カルデラ形成に関与した珪長質マグマの温度条件の違い. 近藤梓・山元正継・緒方武幸・柴田悟史・葛巻貴大
	11:00 T1-09 ベグマタイト岩脈の貫入による加水作用-東南極, セールロンダーネ山地での例-. 土屋範芳・石川正弘・Kumar Satish・河上哲生・Grantham Geoff・目黒雄一・岡本 敦	11:00 T8-09 オマーンオフィオライト北部にみられる下部地殻マントル断面の地質と地震波速度と地震波反射. 石川正弘・柴田 聡・秋月龍之介・金子健太・市来孝志・齊藤 哲	11:00 T3-09 北海道駒ヶ岳火山の噴火層序の再検討: 新しい噴火堆積物の発見とその意義, その2. 吉本充宏・今 浩哉
	11:15 T1-10 マントルウェッジにおけるかんらん岩の加水反応速度に関する実験的研究. 中谷貴之・中村美千彦	11:15 T8-10 放射光X線と組み合わせた高圧下弾性波速度測定. 河野義生・Park Changyong・Shen Guoyin・坂巻竜也・Yu Tony・Wang Yanbin	11:15 T3-10 北海道東部カルデラ火山群の大規模火砕噴火史. 長谷川 健・岸本博志・中川光弘
		11:30 T8-11 (招待) ペネトレータによる海洋底の探査. 藤村彰夫・田中 智・白石浩明・小林直樹・早川 基	
		11:45 T8-12 (招待) 高速拡大中央海嶺下の電気伝導度構造. 馬場聖至・Chave Alan・Evans Rob・Tarits Pascal・Hirth Greg・Mackie Randall	

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月9日（金）午前

会場	共通1大	
	T15. 地球表層環境解読と生命進化	
	座長：佐藤友彦（1-4）、斎藤誠史（5-8）、山田健太郎（9-12）	
9:00	9:00	T15-O-1 冥王代研究. 小宮 剛・下條将徳
	9:15	T15-O-2 白馬八方地域の蛇紋岩熱水系と原始生命. 須田 好・丸山茂徳・上野雄一郎・大森聡一・吉崎もと子・黒川 顕・西山依里・吉野弘二
	9:30	T15-O-3 カーブバールクラトン, バーバートングリーンストーンベルトの35から32億年前の堆積岩に含まれるパイライトの局所鉄同位体分析. 吉屋一美・澤木佑介・渋谷岳造・山本伸次・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史
	9:45	T15-O-4 22億年前の海水塩化物イオン濃度と表層環境の進化. 齋藤拓也・渋谷岳造・小宮 剛・上野雄一郎・丸山茂徳・黒澤正紀
	10:00	T15-O-5 海生生物の進化を促した湧昇環境変動. 須藤 斎・河邑圭太・萩本伸太・寺石瑛人・田中裕一郎
	10:15	T15-O-6 溶存鉄に富んだエディアカラ紀海洋. 澤木佑介・田畑美幸・西澤学・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史
	10:30	T15-O-7 エディアカラ紀から前期カンブリア紀における有機窒素・有機炭素同位体比変動. 菊本亮平・西澤 学・田畑美幸・澤木佑介・高井研・丸山茂徳・上野雄一郎・小宮 剛
	10:45	T15-O-8 南中国・三峡地域の初期カンブリア紀堆積層から得られた脂肪族炭化水素の炭素同位体比. 山田健太郎・上野雄一郎・山田桂大・小宮剛・吉田尚弘・丸山茂徳
	11:00	T15-O-9 南中国雲南省洪家冲セクションにおける下部カンブリア系層序. 佐藤友彦・磯崎行雄・小宮 剛・田畑美幸・吉田尚弘・舒 徳干
	11:15	T15-O-10 南中国四川省峨辺地域におけるペルム紀中-後期境界層の詳細層序. 斎藤誠史・磯崎行雄・姚 建新・紀 戦勝
	11:30	T15-O-11 南中国・四川省北部におけるペルム紀中-後期境界の層序. 蓋盛拓海・磯崎行雄・姚 建新
	11:45	T15-O-12 超海洋中央部における G-L (ペルム紀中期-後期) 境界前後のストロンチウム・炭素同位体層序: 赤坂石灰岩の例. 小福田大輔・磯崎行雄・可児智美

共通3大	
R11. 地域間層序対比と年代層序スケール	
座長：菅沼悠介（1-4）	
9:00	R11-O-1 魚沼層群SK030に含まれる特異な鉱物（ジルコン, セノタイム, モナズ石, コランダム）の特性と対比への応用. 村松敏雄・赤井純治
9:15	R11-O-2 下北半島東部, 砂子又層に挟在するガラス質火山灰の広域対比の可能性について. 田村糸子・山崎晴雄・小林 淳・須藤浩一・岡島靖司・水上啓治
9:30	R11-O-3 南フランスと北海道に露出する上部アルビアン-下部セノマニアン統合層序と地質年代. 高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗・Quidelleur Xavier・Paquette J. L.・Fiet Nicolas
9:45	R11-O-4 白亜紀中期Oceanic Anoxic Event (OAE) 2におけるテーチス海と太平洋の古環境. 西 弘嗣・高嶋礼詩・山中寿郎・林 圭一・望月 直・小安浩理
T14. グリーンタフ・ルネサンス	
座長：松原典孝（1-4）、細井 淳（5-8）	
10:00	T14-O-1 グリーン・タフ層序の再検討. 鹿野和彦
10:15	T14-O-2 奥羽山脈などの発達史から見た東北日本のポストグリーンタフ変動. 中嶋 健
10:30	T14-O-3 岩手県西和賀町周辺奥羽脊梁山脈におけるグリーンタフの火山活動様式. 細井 淳・天野一男
10:45	T14-O-4 宮城県北部・岩手県南部の中期中新世の石越安山岩: “洪水安山岩”との比較. 佐藤 景・石渡 明
11:00	T14-O-5 仙台市西部に産するFeO*に富む後期中新世玄武岩質安山岩マグマの成因. 寺本拓摩・石渡 明
11:15	T14-O-6 北陸~東北の中新世火山岩のマグマ成因. 石渡 明
11:30	T14-O-7 岩相解析に基づいた堆積環境の復元~山陰海岸ジオパークにおけるグリーンタフジオロジーの再検討~. 松原典孝・三木武行・先山徹
11:45	T14-O-8 グリーンタフ時代の太平洋側火山活動とブチスポット. 平野直人

■MEMO■

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています. ※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月10日（土）午前

会場	講堂
	S1. 太陽系固体惑星地質探査：イトカワから火星・金星まで 座長：石渡 明（1-5）、塚本尚義（6-10）
9:00	9:00 趣旨説明. 石渡 明 9:05 小惑星探査機はやぶさが回収したイトカワレゴリス粒子の3次元構造と初期分析におけるX線マイクロCTの役割. 土山 明・上相真之・松島亘志・道上達弘・門野敏彦・中村智樹・上杉健太郎・中野司・サンドフォード スコット・野口 遼・松本 徹・松野淳也・永野 崇・今井悠太・竹内晃久・鈴木芳生・大神稔皓・片桐 淳・海老原 充・アイルランド トレバー・北島富美雄・長尾敬介・奈良岡 浩・野口高明・岡崎隆司・塚本尚義・Michael Zolensky・向井利典・安部正真・矢田 達・藤村彰夫・吉川 真・川口淳一郎 9:25 小惑星探査機はやぶさが回収したイトカワ微粒子の鉱物学的研究. 中村智樹・野口高明・田中雅彦・マイク ソレンスキー・木村真・土山 明・中藤亜衣子・大神稔皓・石田初美・上相真之・矢田達・白井 慶・岡崎隆司・スコット サンドフォード・脇田 茂・藤村彰夫・石橋之宏・安部正真・岡田達明・上野宗孝・向井利典・吉川 真・川口淳一郎 9:45 大気のない小天体表面の地質学的過程と小天体表面物質の鉱物科学. 野口高明 10:05 小惑星2008 TC3に由来する隕石ユレイライトと炭素質物質. 宮原 正明・大谷栄治・El Goresy Ahmed・長瀬敏郎・西嶋雅彦 10:25 将来火星探査計画における地質学の役割. 後藤和久・小松吾郎 10:45 衛星のテクトニクス. 山路 敦 11:05 月高地地殻の化学組成. 大竹真紀子 11:25 SELENE-2の着陸場所推薦. 佐伯和人・荒井朋子・荒木博志・石原吉明・大竹真紀子・唐牛 讓・小林直樹・春山純一・杉原孝充・本田親寿・佐藤広幸 11:45 総合討論. 塚本尚義

共通1大	
R19. テクトニクス	
座長：佐藤活志（1-4）、加藤直子（5-8）、藤内智士（9-12）	
9:00	R19-O-1 新潟中越地域2010年東山-三島測線地殻構造探査の成果. 佐藤比呂志・阿部 進・齊藤秀雄・白石和也・加藤直子・石山達也・岩崎貴哉・河合展夫・稲葉 充 9:15 反射法地震探査による新潟平野東縁悠久山地域の地質構造. 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・阿部 進・齊藤秀雄・越谷 信・戸田茂・稲葉 充 9:30 San Andreas Fault における断層スタイルの変化. 林 大五郎・Koirala Matrika P. 9:45 2011年4月11日福島県浜通りの地震に伴い井戸沢断層に沿って出現した地震断層の特徴. 丸山 正・斎藤英二・吾妻 崇・谷口 薫・吉見雅行・林田拓己・齋藤 勝 10:00 速報異地性デュプレックスをなす跡津川断層露頭. 大坪友英・中村典之・吉岡修司・井上雅裕 10:15 根尾谷断層破砕帯における微量元素の濃集と最新すべり面との関係. 大谷具幸・香名亮輔・小嶋 智・若居勝二・各務和彦・榎並正樹 10:30 中部日本, 諏訪-八ヶ岳火山地域にみられる第四紀火成岩岩脈群が示す二つの卓越方向. 藤内智士・西来邦章 10:45 新潟県北部, 荒川下流地域の第三系と基盤岩類におけるE-W~NW-SE走向横断断層の特徴. 豊島剛志・栗田裕司・石川夕夏子 11:00 層面すべり方向の観察による対馬の褶曲時期の検討. 柳澤達彦・山路 敦・佐藤活志 11:15 熊野花崗斑岩の東偏古地磁気方位の意味. 星 博幸・神谷直宏・川上 裕 11:30 西南日本外帯の帯状構造に反時計回りに斜交する断層・剪断帯群一特に上生川断層の変位量分布について一. 山北 聡 11:45 消えたフェニックスプレートの謎. 高橋雅紀

共通32	
T18. ジュラ系十	
座長：中田健太郎（1-4）、柿崎喜宏（5-8）	
9:00	T18-O-1 Campanian期後期に北太平洋に生息した放散虫群集 - 淡路島南西部の和泉層群北縁相から得られた放散虫化石-. 吉野恒平・松岡 篤 9:15 九州西部, 八代地域の走水コンプレックスから産したジュラ紀古世放散虫化石群集. 石田直人 9:30 ボルネオ島北西部, 上部ジュラ系~下部白亜系バウ石灰岩の半深海相の化学層序から推定される環境変化. 柿崎喜宏・長谷川 卓・狩野彰宏・ヴァイサート ヘルムット 9:45 石川県の手取川流域北部に分布する手取層群の層序と植物化石群. 酒井佑輔・松岡 篤 10:00 Recent progress on the nonmarine Jurassic/Cretaceous boundary in northern China. Li Gang 10:15 南相馬市の相馬中村層群小山田層の新産地から得られた白亜紀初期のアンモナイトおよびオウムガイ群集. 佐藤 正・竹谷陽二郎・八巻安夫・柄久保廣泰・荒 好・平 宗雄・岸崎晃一郎・二上文彦・田村 翼・松岡 篤 10:30 Toarcian期前期の海洋無酸素事変とアンモナイト群集の多様性低下-西南日本の下部ジュラ系豊浦層群の例. 中田健太郎・松岡 篤 10:45 下部ジュラ系Pliensbachian-Toarcian階のアンモナイト/放散虫層序-Toarcian期の海洋無酸素事変の理解に向けて. 松岡 篤・中田健太郎
R23. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造 座長：須藤 宏（1-2）	
11:00	R23-O-1 岐阜・福井県境稜線にみられる山体重力変形地形の特徴. 小嶋智・徳永浩之・大谷具幸 11:15 平成23年4月11日福島県浜通りの地震による被害状況と地形・地質との関連. 小荒井 衛・岡谷隆基・小林知勝・飛田幹男・脇坂安彦・佐々木靖人・阿南修司
R22. 環境地質 座長：田村嘉之（1-2）	
11:30	R22-O-1 千葉県観測井の孔内地下水の温度 - 浅い観測井における深度方向分布と季節変化・日変化-. 古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・風岡修・楠田 隆・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 11:45 新潟砂丘の地形改変-とくに, 1911年以降の高さの変化-. 仲川隆夫

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月10日（土）午前

会場	共通33	共通36	共通3大
	R12. 海洋地質	T11. 平野地質	T9. 地質情報の利活用
	座長：大岩根 尚 (1-4), 吉河秀郎 (5-8)	座長：卜部厚志 (1-3), 田村 亨 (4-5)	座長：野々垣 進 (1-3)
9:00	<p>9:45 R12-O-1 鹿兒島県薩摩硫黄島長浜湾の鉄沈殿物の特徴：10年間の気象及び火山活動記録・海底温度変化の対応関係について。上芝卓也・清川昌一・永田知研・二宮知美・池上郁彦・小栗一将・伊藤 孝・池原実・山口耕生・後藤秀作</p> <p>10:00 R12-O-2 薩摩硫黄島長浜湾の鉄に富む現世堆積物中の希土類元素の地球化学。冀和雄人・阿部 茜・山口耕生・清川昌一・上芝卓也・永田知研・池原 実・伊藤 孝</p> <p>10:15 R12-O-3 南極海インド洋セクター南緯65度から採取された海洋コアの堆積年代と古環境。村山雅史・多賀順一・山本裕二・加藤義久</p> <p>10:30 R12-O-4 白鳳丸KH-10-7次航海による南大洋インド洋区の海洋地質調査の成果～コンラッド・ドリフトとエンダービーランド沖のタービダイト～。池原 実・野木義史・香月興太・岡本周子・中村恭之・大岩根尚・佐藤太一・三浦英樹・菅沼悠介・山根雅子・横山祐典・松崎琢也</p> <p>10:45 R12-O-5 反射断面に記録された南極周極流の変化。大岩根 尚・池原 実・菅沼悠介・中村恭之・野木義史・佐藤太一</p> <p>11:00 R12-O-6 2011年東北地方太平洋沖地震の震源域付近の反射法音波探査。荒井晃作・岡村行信・井上卓彦・池原 研・佐々木智之</p> <p>11:15 R12-O-7 熊野トラフに発達する泥火山を用いた海底下深部物質の地質学的研究。村岡 諭・芦寿一郎・金松敏也・坂口有人・稲垣史生</p> <p>11:30 R12-O-8 現世及び新生代海洋におけるマンガングラストの形成史と環境。白井 朗・高橋嘉夫・伊藤 孝・鈴木勝彦・浦辺徹郎・得丸絢加・ソートン プレア・坂口 綾・小田啓邦・加藤真悟</p>	<p>9:30 T11-O-1 地中レーダーを用いた地震性バリアーシステム解明計画。七山 太</p> <p>9:45 T11-O-2 地中レーダ・地層分布不連続解析による神戸市街地の地下構造評価。宮田隆夫・浅野由莉・苦瓜泰秀</p> <p>10:00 T11-O-3 鳥取砂丘の過去500年間における形成過程：地中レーダとルミネッセンス年代を用いた復元。田村 亨・渡辺和明・山口直文・松本弾・小玉芳敬・Bateman Mark・齋藤 有</p> <p>10:15 T11-O-4 出雲平野から得られたボーリングコアによる古環境変遷と平野の形成過程。岡崎裕子・瀬戸浩二・高田裕行・酒井哲弥・大木彩加・山田和芳・那須浩郎・渡邊正巳</p> <p>10:30 T11-O-5 新潟県、柏崎・刈羽地域の沖積層の層序と堆積過程。卜部厚志</p>	<p>9:00 T9-O-1 地質情報の利活用の促進－20万分の1日本シームレス地質図を用いた例－。齋藤 眞・西岡芳晴・森尻理恵・宝田晋治・巖谷利光・野々垣淑恵</p> <p>9:15 T9-O-2 シームレス地質図のスマートタイル化－Web-GISからの脱却－。西岡芳晴・野々垣（眞坂）淑恵</p> <p>9:30 T9-O-3 Android携帯端末の地質調査への応用。小島佑季彦・西開地一志・豊田 守</p>
	R13. 堆積物（岩）の起源・組織・組成		R10. 地域地質・地域層序
	座長：太田 亨 (1-4)		座長：松原典孝 (1-3), 村田明広 (4-6), 吉川敏之 (7-9)
	<p>10:45 R13-O-1 三疊紀初期における大陸風化の減少－中央ネパール・テチスヒマラヤ、マナン地域の例－。吉田孝紀・川村寿郎・鈴木茂之・足立佳子・ディタール メグ ラジ</p> <p>11:00 R13-O-2 西南日本外帯秩父累帯のジュラ紀付加体中の碎屑性ザクロ石の化学組成と碎屑性ジルコンの年代分布。宮本隆実・池内瑠美・桑水流淳二・早坂康隆</p> <p>11:15 R13-O-3 紀伊半島四万十帯砂岩の重鉱物組成と碎屑性ザクロ石組成の時代的变化から推定される後背地の変遷。別所孝範</p> <p>11:30 R13-O-4 動的画像解析法を用いた堆積物の粒度分析手法の現状と技術的課題。七山 太・小笠原正継</p>	<p>9:45 R10-O-1 北海道中央部、三疊紀石灰岩体の岩相と化石相（予報）。川村寿郎・菅井由貴</p> <p>10:00 R10-O-2 神居古潭帯・糠平岩体由来のロジン岩化蛇紋岩質テクトナイト。東豊土・加藤孝幸</p> <p>10:15 R10-O-3 大須賀海岸における2011年東北地方太平洋沖地震の津波による地形改変と津波堆積物。鎌田耕太郎</p> <p>10:30 R10-O-4 神戸層群凝灰岩のRb-Sr年代と起源。吉田敏和・寺門靖高</p> <p>10:45 R10-O-5 紀伊半島西部、松原地域に分布する秩父累帯上部白亜系の層序とフィッション・トラック年代。松本孝之</p> <p>11:00 R10-O-6 広島県東部の川井石灰岩産石炭紀アンモノイド。永広昌之・西川治・西川 功</p> <p>11:15 R10-O-7 四国東端炭石海岸の秩父南帯白亜紀前期付加コンプレックスと前弧海盆堆積物。石田啓祐・鈴木茂之・山下真司</p> <p>11:30 R10-O-8 四国西部・中東部の御荷鉾緑色岩類周辺の地質構造。村田明広・前川寛和</p> <p>11:45 R10-O-9 対馬北部に分布する対州層群上部層の堆積環境。二宮 崇・下山正一・宮田雄一郎・山中寿朗・松田博貴・青木隆弘・西田民雄・市原季彦</p>	

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	講堂
	T20. 自然のめぐみとジオパーク（公開セッション） 座長：渡辺真人（1-4），高木秀雄（5-8），天野一男（9-12）
14：30	15：30 T20-O-1 自然災害とジオパークー茨城県北ジオパーク構想を例としてー， 天野一男
	15：45 T20-O-2 変動帯におけるジオパークー室戸ジオパークの例ー， 殿谷 梓 ・ 柚洞一央 ・ 柴田伊廣
	16：00 T20-O-3 山陰海岸ジオパークにおける直下型地震遺産の保存と活用， 松原典孝 ・ 先山 徹
	16：15 T20-O-4 なぜ花崗岩のことをみかげ石と呼ぶかー六甲山地がもたらした災害と恵みー， 先山 徹
	16：30 T20-O-5 地すべりが育む山村の暮らしー糸魚川ジオパーク，権現岳ジオサイトの例ー， 竹之内 耕 ・ 宮島 宏 ・ 茨木洋介
	16：45 T20-O-6 プレートがもたらした地下からの美しい便りー糸魚川世界ジオパークの翡翠の価値と謎ー， 宮島 宏 ・ 竹之内 耕 ・ 茨木洋介
	17：00 T20-O-7 1888年の磐梯山噴火による災害と恩恵， 竹谷陽二郎 ・ 佐藤 公
	17：15 T20-O-8 「銚子ジオパーク」構想の解説とこれまでの活動紹介， 安藤生大
	17：30 T20-O-9 博物館の役割と貢献（中国ジオパークに学ぶ）， 太田泰弘 ・ 野井英明
	17：45 T20-O-10 世界ジオパークネットワークと日本ジオパークネットワークの現状， 渡辺真人
	18：00 T20-O-11 いわて三陸ジオパーク構想と東日本大震災， 永広昌之 ・ 伊藤 仁 ・ 大石雅之
	18：15 T20-O-12 三陸ジオパーク設立にむけて（提案）， 高木秀雄 ・ 渡辺真人

人文10
R6. 深成岩・火山岩及びサブダクションファクトリー 座長：足立佳子（1-4），亀井淳志（5-8），土谷信高（9-11,16），伴 雅雄（12-15）
14：30 R6-O-1 マリアナ海溝南部カンラン岩の岩石学的特徴と構造， 道林克禎 ・ 上原茂樹 ・ 小原泰彦 ・ 石井輝秋
14：45 R6-O-2 世界最深の海洋底かんらん岩，トンガ海溝かんらん岩の構造岩石学的研究， 新海優里 ・ 道林克禎 ・ 上原茂樹 ・ 石井輝秋
15：00 R6-O-3 新宮マフィックー超マフィック捕獲岩から推定される四国北部の深部リソスフェアの構成， 野口 渉 ・ 水上知行 ・ 荒井章司 ・ 田村明弘
15：15 R6-O-4 西オーストラリア，ピルバラ地塊の花崗岩体より産出する苦鉄質包有岩の記載岩石学的研究， 鈴木和恵 ・ 山本伸次 ・ 横山隆臣 ・ 平田岳史 ・ 丸山茂徳
15：30 R6-O-5 オマーンオフィオライト北部における大規模ウェールライト岩体の発見， 金子 龍 ・ 三瓶 崇 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫
15：45 R6-O-6 オマーンオフィオライト北部の後期火成岩類の岩石化学的性質とその成因， 土谷信高 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫 ・ 柴田知之 ・ 芳川雅子
16：00 R6-O-7 海嶺セグメント内部における溶岩層の系統的变化ーオマーンオフィオライトの例， 草野有紀 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫 ・ 海野 進
16：15 R6-O-8 日高変成帯，音調津斑れい岩マグマとメタルミナスターナル岩マグマの成因関係， 小島 萌 ・ 志村俊昭
16：30 R6-O-9 原生代に活動した東南極セール・ロンダーネ山地のアダカイト質・非アダカイト質変トータル岩の地球化学的特徴， 亀井淳志 ・ 大和田正明 ・ 柚原雅樹 ・ 志村俊昭 ・ 東田和弘 ・ 寺尾まどか ・ 原 有希 ・ 手打晋二郎
16：45 R6-O-10 近畿地方の100Maアダカイト質安山岩・花崗岩，高Nb玄武岩およびスペッサルタイト岩脈の地球化学， 今岡照喜 ・ 君波和雄 ・ 平松圭 ・ 大平 武 ・ 亀井淳志 ・ 板谷徹丸 ・ 貴治康夫
17：00 R6-O-11 小豆島における領家苦鉄質岩脈の岩石化学的特徴とその起源， 小泉奈緒子 ・ 奥平敬元 ・ 隅田祥光
17：15 R6-O-12 山陰帯島根県横田地域に分布する阿毘緑花崗閃緑岩の地質学的・岩石学的研究， 岩田智加 ・ 亀井淳志 ・ 岩田克彦
17：30 R6-O-13 西南日本白亜紀ー古第三紀花崗岩に関する年代学的，岩石学的研究および数値計算， 飯田和也 ・ 岩森 光 ・ Park Taeho ・ 折橋祐二 ・ Yong-Joo Jwa ・ Sung-Tack Kwon ・ 檀原 徹 ・ 岩野英樹
17：45 R6-O-14 山口県見島の後期中新世アダカイト質安山岩の微量元素およびSr，Nd同位体化学組成， 藤林紀枝 ・ 山田雅和 ・ 永尾隆志 ・ 寺岡康一郎
18：00 R6-O-15 伊豆半島，南崎ベイサナイトの岩石化学的特徴と単斜輝石岩包有物について， 大鹿淳也 ・ 荒川洋二 ・ 遠藤大介 ・ 新村太郎
18：15 R6-O-16 東北日本，鳥海山の歴史時代噴火噴出物の岩石学的研究， 伴 雅雄 ・ 中村潤子 ・ 廣谷志穂 ・ 林 信太郎 ・ 大場 司 ・ 周藤賢治

人文11
R1：鉱物記載・分析評価 座長：赤坂正秀（13-15），黒澤正紀（16-18）
14：30 R1-13 EPMAによる黒雲母の化学組成式：結晶化学と成因的意義， 花田 遼平 ・ 木股三善 ・ 清水雅浩 ・ 星野美保子 ・ 越後拓也 ・ 西田憲正 ・ 中野聰志
14：45 R1-14 合成白雲母と砥部石の遠赤外吸収スペクトル， 石田清隆
15：00 R1-15 日本の新第三紀花崗岩の熱水流体の組成と挙動， 黒澤正紀 ・ Shin Ki-Cheol ・ 笹 公和 ・ 石井 聡
15：15 R1-16 天然および合成ピンク・ダイヤモンドの物性評価と宝石鑑別， 北脇裕士 ・ 岡野 誠 ・ 阿依 アヒマディ ・ 川野 潤
15：30 R1-17 島根県隠岐の島大久産レールゾライトゼノリス中のかんらん石におけるFeの酸化数とその存在状態， 江島輝美 ・ 赤坂正秀 ・ 大藤弘明
15：45 R1-18 Low-temperature Sr enrichment in mantle pyroxenes as a result of crustal alteration in plagioclase lherzolite， Tahmineh Pirnia ・ Shoji Arai ・ Akihiro Tamura ・ Satoko Ishimaru ・ Ghodrat Torabi

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション，S1～S3，R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	人文13	
	T5: 地殻流体のダイナミズム: 変形および変成作用に及ぼす流体の影響	
	座長: 竹下 徹 (01-02), 岡本和明 (03-05), 石丸聡子 (06-08), 森下知晃 (09-11), 針金由美子 (12-14)	
14:30	14:45 メルト熱移流による高温型変成帯の形成. 宮崎一博	T5-01
	15:00 北Qaidam山地, 勝利口橄欖岩に見られる超高压変成作用以前に起きた高塩濃度流体による変質作用の鉱物学的証拠. 苗村康輔・楊建軍・下林典正	T5-02
	15:15 超塩基性メランジにおける流体-岩石相互作用と変形: アイソコン法を用いた研究例. 森 康・重野未来・西山忠男	T5-03
	15:30 K-cymrite (KAlSiO ₈ ·H ₂ O) とその無水相のラマン分光. 神崎正美・薛 猷宇・Amalberti Julien・Zhang Qian	T5-04
	15:45 高压変成作用下の交代作用による白色片岩の形成. 平島崇男・コンパニョーニ ロベルト	T5-05
	16:00 フィリピン海パレスペラ海盆のゴジラムリオンから採取されたはんれい岩に含まれる角閃石の地球化学的特徴. 針金由美子・森下知晃・Snow Jonathan・田村明弘・道林克禎・小原泰彦・荒井章司	T5-06
	16:15 相平衡変成岩岩石学と物質移動の地球化学の融合: 全体像の解明に向けて. 宇野正起・中村仁美・岩森 光	T5-07
	16:30 休憩	
	16:45 ロシア極東, Ust'-Belayaオライトのマンツルかんらん岩から見えてきた前弧域かんらん岩の多様性. 町 澄秋・石渡 明・森下知晃・早坂康隆・Ledneva Galina V.・Sokolov Sergey D.・Palandzhyan Suren A.・Moiseev Artem V.・Bazylev Boris A.	T5-08
	17:00 Ca-metasomatism in the oceanic mantle as the result of high-T hydrothermal circulation: evidence from diopside dykes in the Oman ophiolite. Marie Python・Masako Yoshikawa・Tomoyuki Shibata・Georges Ceuleneer・Shoji Arai	T5-09 (Invited)
	17:15 一気圧での不混和メルト間の微量元素と希土類元素の分配実験. 佐藤 桂・Ellis David, J.・Christy Andrew, G.	T5-10
	17:30 プレート境界における交代作用不安定とせん断不安定. 鳥海光弘・福山繭子	T5-11
	17:45 溶液-沈殿クリーブに関連する水の分布とその拡散性. 福田惇一・奥平敬元	T5-12
	18:00 衝突帯大断層流体の化学 - 台湾Lishan断層中の石英脈流体包有物の化学組成 -. 岡本和明・飯島千尋・黒澤正紀・チャン ユーチャン・寺林 優	T5-13
	18:15 下部地殻条件下における弾性波速度への水の影響. 石川正弘・堤大輔	T5-14

人文14	
R5: 地球外物質	
座長: 橋 省吾 (01-06), 海田博司 (07-12)	
14:30	R5-01 ベルギー-日本共同南極隕石探査による「あすか10隕石」の発見と採集. 海田博司・Goderis Steven・Debaille Vinciane・小島秀康・Claeys Philippe
14:45	R5-02 Tagish Lake隕石のコンドリユール/リムとクラスト: 母天体における活発な角礫岩化作用の証拠. 高山亜紀子・留岡和重
15:00	R5-03 Ningqiang隕石中のネフェリンの分布と鉱物学的特徴: TEM, SR-XRDによる研究. 松本 恵・留岡和重・瀬戸雄介・杉田光弘
15:15	R5-04 微隕石のとけ残り鉱物: フェロアンなかんらん石と低Ca輝石. 今柴直也・テイラー スーザン・岩田尚能
15:30	R5-05 エフレモフカ隕石中衝撃溶融脈の微細組織観察: 衝撃溶融による物質進化過程. 瀬戸雄介・関川知里・三宅 亮・留岡和重
15:45	R5-06 火星隕石より発見されたオリビンの高压分解組織. 宮原正明・大谷栄治・小澤 信・木村 眞・El Goresy Ahmed・境 毅・長瀬敏郎・平賀賢二・平尾直久・大石泰生
16:00	R5-07 高压シリカおよび長石鉱物のカソードルミネッセンス. 裕・西戸裕嗣・関根利守・蛭川清隆
16:15	R5-08 月地殻と小天体での分化過程の輝石を中心とした比較. 武田 弘・唐牛 讓・山口 亮・長岡 央・大竹真紀子・廣井孝弘
16:30	R5-09 小惑星ベスタのマグマ大洋固化後の火山活動: HED隕石からの事実. 山口 亮・伊藤元雄・バラット ジーンアリックス
16:45	R5-10 Almahata Sitta隕石から推測した小惑星2008TC ₃ の構造. 三河内 岳・ブレンスキー マイケル・ホフマン ビクトール
17:00	R5-11 放射光マイクロXANESによるユークライト中斜長石の鉄の酸化状態. 佐竹 渉・ブキャンナン ポール・三河内 岳・宮本正道
17:15	R5-12 火星隕石と高压実験により推定した火星マンツルの融解条件. 松影香子・長與陽子

人文15	
T4: レオロジー 地殻からコアまで	
座長: 片山郁夫 (01-04), 西原 遊 (05-08), 大内智博 (09-12)	
14:30	T4-01 (招待) 岩石のレオロジーからみる東北日本弧の変形. 武藤 潤
14:45	T4-02 非対称性背弧拡大時における海洋下部地殻のレオロジー. 道林克禎・針金由美子・小原泰彦
15:00	T4-03 チベット中央部のナムツォ湖周辺に分布する段丘から制約した高い粘性を持つ中部地殻. ウォリス サイモン・森 宏・小澤和浩・鷲谷 威・中村俊夫・時 丕龙
15:15	T4-04 界面エネルギーを考慮した動的再結晶粒径モデル. 清水以知子
15:30	T4-05 アルバイト分解反応と塑性流動の相互作用. 土井菜保子・加藤工・久保友明・野田真彦・白石 令・鈴木昭夫・大谷栄治・亀掛川卓美
15:45	T4-06 斜長石とかんらん石の相対強度から考察する地球型惑星内部のレオロジー層構造. 東 真太郎・片山郁夫
16:00	T4-07 高温高压実験によるスピネル-ガーネットかんらん岩相転移のメカニズムとカINETIKSに関する研究. 永吉麻衣子・久保友明・加藤 工
16:15	T4-08 かんらん岩の流動強度における含水メルトの効果. 大内智博・西原 遊・川添貴章・シュベングラー デイルク・白石 令・鈴木昭夫・大谷栄治・亀掛川卓美
16:30	T4-09 粒径依存型クリーブにおける二相分率と粒成長・変形挙動との相関. 田阪美樹・平賀岳彦
16:45	T4-10 上部マンツル深部でのカンラン石のレオロジー. 西原 遊・大内智博・川添貴章・シュベングラー デイルク・田阪美樹・平賀岳彦・亀掛川卓美・鈴木昭夫・大谷栄治
17:00	T4-11 マンツル遷移層温度圧力条件下での含水ウォズライトのクリーブ強度放射光その場測定. 実験. 川添貴章・西原 遊・大内智博・西真之・肥後祐司・舟越賢一・入船徹男
17:15	T4-12 三軸変形川井型装置による下部マンツル条件での(Mg, Fe)SiO ₃ -ペロプスカイトの変形実験. 辻野典秀・西原 遊・瀬戸雄介

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月10日（土）午後

会場	共通1大	共通32	共通33
	T10. 日本列島の地体構造区分と構造発達史	R22. 環境地質	T16. 地層処分と地球科学
	座長：磯崎行雄（1-4）、山本伸次（5-10）、青木一勝（11-16）	座長：田村嘉之（3）、岩井久美子（4-6）、風岡 修（7-10）、吉田 剛（11-14）、川辺孝幸（15-18）	座長：吉田英一・渡部芳夫（1-7）、梅田浩司・高橋正樹（8-12）
14：30	14：30 T10-O-1 日本列島構造発達史と太平洋型造山運動論。丸山茂徳・鈴木和恵・中間隆晃	14：30 R22-O-3 佐倉市畔田沢における水文と地質環境。岩井久美子・田村嘉之・特定非営利活動法人水環境研究所	14：30 T16-O-1 地質環境の超長期将来予測について。高橋正樹
14：45	14：45 T10-O-2（招待） 次世代高分解能レーザーアブレーションICP質量分析法の開発とその地質学的応用。平田岳史・牧 賢志・横山隆臣・鈴木敏弘・昆慶明	14：45 R22-O-4 千葉県に分布している湧水の地質環境その2。田村嘉之・岩井久美子・特定非営利活動法人水環境研究所	14：45 T16-O-2 ESR熱年代学による断層活動性評価：台湾チェルンブ断層掘削計画Hole Bコアを例として。福地龍郎・今井 登・徐 垣・宋 聖榮
15：00	15：00 T10-O-3 碎屑性ジルコン年代学：その効能と今後の展望。山本伸次・小宮剛・磯崎行雄・青木一勝・李野修士・中間隆晃・丸山茂徳・牧 賢志・横山隆臣・平田岳史	15：00 R22-O-5 甲府盆地北部域の地下構造の解明と地下水探査。輿水達司・尾形正岐・小林 浩・内山 高・北原 賢	15：00 T16-O-3 物質科学的手法による断層活動性評価手法の開発 - 鳥取県西部地域における研究事例 -。宮下由香里・小林健太・伊藤順一・間中光雄・福土圭介・亀井淳志・渡部芳夫
15：15	15：15 T10-O-4 構造侵食は沈み込み帯から物質を持ち去るのか？植田勇人	15：15 R22-O-6 ヘキサダイアグラムで見る斐伊川水系及び周辺河川の特徴。池田友里恵・齋藤 有・中野孝教・酒井哲弥	15：15 T16-O-4 堆積岩地域における広域地下水流動モデルの多面的検証手法の検討。伊藤一誠・萩沼真之・内田雅大・関 陽児・竹野直人・宗像雅広
15：30	15：30 T10-O-5 碎屑性ジルコンの年代頻度分布法を用いたスコットランド北東部Buchan変成帯及び南西部Ballantrae火成複合岩体の構造発達史の解明。鈴木佑允・山本伸次・青木一勝・昆 慶明・丸山茂徳	15：30 R22-O-7 廃棄物埋立跡地での汚染物質流出防止対策に伴う現象 - 特に地盤沈下や小動物の発生 -。楠田 隆・吉田 剛・古野邦雄・香川 淳・笠原 豊・柳 敏和・田村嘉之・石井泰裕・風岡 修・加藤晶子・山本真理・酒井 豊	15：30 T16-O-5 ベントナイトの止水機能の長期変質評価手法について。向井雅之・澤口琢磨・片岡理治・塚田 学・前田敏克・田中忠夫
15：45	15：45 T10-O-6 茨城県日立地域の新たな碎屑性ジルコン年代と地質構造。金光玄樹・大藤 茂・下條将徳・平田岳史・横山隆臣	15：45 R22-O-8 液状化発生地の地表観測地震波形と地中観測地震波形—平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震のKnet CHB024と稲毛地中地震計（INAG34）（GL-34m）観測データから—。酒井 豊・加藤晶子・楠田 隆	15：45 T16-O-6 遠心力載荷模型試験による高レベル放射性廃棄物処分場周辺の長期挙動評価。西本壮志・岡田哲実・澤田昌孝
16：00	16：00 T10-O-7 徳島県木頭名変成岩類の再訪：西南日本古生代前期高圧片岩の年代学的再検討。宮下 敦・辻森 樹	16：00 R22-O-9 千葉県内の観測井に現れた2011年東北地方太平洋沖地震の影響（速報）。香川 淳・古野邦雄・山本真理	16：00 T16-O-7 Fate of plutonium derived from the atomic bomb detonated at Nagasaki, Japan. 岩田 孟・坂巻景子・安田健一郎・大貫敏彦・宇都宮 聡
16：15	16：15 T10-O-8 三波川帯変成岩類中の碎屑性ジルコンの年代。下條将徳・青木一勝・大藤 茂・横山隆臣・平田岳史・金光玄樹・柳井修一	16：15 R22-O-10 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震による瓦屋根被害分布 - 千葉県習志野市谷津付近の被害調査から -。酒井 豊	16：15 T16-O-8 地質環境の超長期評価に伴う不確実性に対する取り組み。後藤淳一・幡谷竜太・江橋 健・石黒勝彦・土 宏之
16：30	16：30 T10-O-9 日本列島における白亜紀の構造浸食作用。青木一勝・山本伸次・磯崎行雄・牧 賢志・横山隆臣・平田岳史	16：30 R22-O-11 GPS測距による千葉湾岸地域における地盤変動の観測。加藤晶子・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・風岡 修・酒井 豊・吉田 剛・山本真理	16：30 T16-O-9 想定外事象に対する地層処分の閉鎖前セーフティケース。河村秀紀・納多 勝・八塩晶子
16：45	16：45 T10-O-10 長崎変成岩類および隣接する地質単元からの新たなウラン-鉛ジルコン年代。高地吉一・大藤 茂・小原北士・折橋裕二・宮田和周・下條将徳	16：45 R22-O-12 干涉SAR解析を用いた2011年東北地方太平洋沖地震に伴う東京湾臨海域の液状化分布の検出。石塚師也・辻 健・松岡俊文・水野敏美	17：00 T16-O-10 地層処分における立地での地質変動の超長期影響に対する安全評価の指標について。大坪 誠
17：00	17：00 T10-O-11 九州西部天草ビシャゴ岩高圧グラニュライトのジルコンU-Pb年代と大陸地殻下底における火山弧から前弧への物質供給の可能性。宮崎一博・福山繭子・有馬和宏・池田 剛・牧 賢志・Yui Tzen-Fu・Grove Marty	17：00 R22-O-13 利根川下流域における東日本大震災による液状化・流動化被害 - 茨城県稲敷市・河内町の例 -。藤崎克博	17：00 T16-O-11 地質環境の超長期予測の課題：山地の発達段階の評価。安江健一・谷川晋一・梅田浩司・須貝俊彦・大森博雄
17：15	17：15 T10-O-12 八重山変成岩類の碎屑性ジルコン年代と形成場。石塚英男・市木克洋・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・吉本 紋	17：15 R22-O-14 房総半島でみられた2011年東北地方太平洋沖地震およびその余震による液状化・流動化現象 - 房総半島の概要と東京湾岸埋立地域の詳細について -。風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・高梨祐司・楡井 久	17：30 T16-O-12 地質環境の長期挙動評価における不確実性について。吉田英一・渡部芳夫・高橋正樹・梅田浩司
17：30	17：30 T10-O-13 肥後変成帯、阿武隈変成帯、領家変成帯のジルコンSHRIMP U-Pb年代と微量元素組成。牧 賢志・福山繭子・宮崎一博・Yui Tzen Fu・Grove Marty	17：30 R22-O-15 液状化と環境地質。上砂正一	
17：45	17：45 T10-O-14 衝突帯の変成作用と中圧型変成岩。大森聡一・眞砂英樹	17：45 R22-O-16 大地震からの復興は、災害履歴を地質環境史に編むことからはじめよう！ 初倉克幹・志岐常正・風岡 修・古野邦雄	
18：00	18：00 T10-O-15 韓国Ogcheon帯中・古生層の碎屑性ジルコン年代。勝部亜矢・早坂康隆・坂口 綾・高橋嘉夫・姜 志勲	18：00 R22-O-17 東日本大震災の津波堆積物の性質とリスク評価（第一報）。土屋範芳・山崎慎一・山田亮一・平野伸夫・岡本 敦・小川康正・渡邊隆広	
18：15	18：15 T10-O-16 日本列島形成史再訪：弧地殻の肥大と縮小の歴史。磯崎行雄・青木一勝・山本伸次・中間隆晃・丸山茂徳・大森聡一	18：15 R22-O-18 日本海溝への高レベル放射性廃棄物投棄問題と2011年東北太平洋沖地震 - 地震発生メカニズムへの疑問と東関東の太平洋沿岸南部を襲った津波 -。楡井 久・楡山知代・風岡 修・木村和也・楠田隆・高島英世	

*R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

*プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	共通36	
	R15. 堆積相・堆積過程	
	座長：市原季彦（1-3）、山口直文（4-7）、成瀬 元（8-10）、西田尚央（11-13）	
14：30	14：30 R15-O-1 東日本太平洋沖地震津波の潮上と海水氾濫による堆積作用。 箕浦幸治・平野信一・山田 努・飯島耕宗	
	14：45 R15-O-2 東北地方太平洋沖地震津波堆積物の特徴：岩手県陸前高田市の調査結果速報。 山下翔大・新井和乃・成瀬 元・高橋宏樹・松本弾・田中源吾	
	15：00 R15-O-3 仙台平野の沿岸低地を遡上した津波堆積物。 高清水康博・ト部厚志・鈴木幸治	
	15：15 R15-O-4 混濁流の古水理条件の推定：手法間の比較。 新井和乃・成瀬元・長谷川裕樹・伊藤 慎	
	15：30 R15-O-5 泥池化過程の小型海盆で生成するタービダイト層序パターン：水槽実験による解析。 高橋宏樹・成瀬 元・武藤鉄司	
	15：45 R15-O-6 ハイパーピクナル流の挙動に関する野外および水槽実験からの考察。 坂井 卓・管 舞子	
	16：00 R15-O-7 海底土石流堆積物に発達する渦構造と波動構造。 中屋志郎	
	16：15 休憩	
	16：30 R15-O-8 前弧堆積盆の堆積盆埋積システムと構造規制バリエーション：東海沖更新統と三陸沖～石狩古第三系の例。 高野 修・伊藤康人・古川稔子	
	16：45 R15-O-9 更新統東海層群多良層の三角州堆積物中の地滑り堆積物と地滑りの運動像。 酒井哲弥・池田友里恵・北堀建太・田端英雄	
	17：00 R15-O-10 陸棚堆積物中の fluid mud 堆積物の形成プロセス：福岡遠賀川河口沖。 西田尚央・池原 研	
	17：15 R15-O-11 ルミネッセンス特性から推定される遠州灘における近年の砂粒子運搬過程。 白井正明	
	17：30 R15-O-12 大阪平野西部における古墳時代中期の汀線堆積物。 中条武司・趙哲済	
	17：45 R15-O-13 阿蘇カルデラ西麓に発達する緩傾斜含巨礫扇状地の形成とカルデラ湖決壊洪水の可能性。 片岡香子・宮縁育夫	

共通3大	
T17. 新展開沈み込み帯地震発生帯科学	
座長：橋本善孝（1-5）、金川久一（6-10）、氏家恒太郎（11-16）	
14：30 T17-O-1 海溝型超巨大地震と比較沈み込み学パラダイムの崩壊。 木村 学	
14：45 T17-O-2 沈み込み帯のシリカ堆積物の脱水と変形－美濃帯犬山地域。 比名祥子・濱田洋平・山口飛鳥・亀田 純・木村 学	
15：00 T17-O-3 コスタリカ沈み込み帯における最新の掘削成果：IODP Expedition 334。 氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Malinverno Alberto・Stroncik Nicole・第334次航海乗船研究者一同	
15：15 T17-O-4 コスタリカ前弧斜面における応力場の復元：IODP Exp. 334で実施されたLogging-while-drillingの成果。 齋藤実篤・山本由弦・林為人・北村有迅・橋本善孝・Malinverno Alberto・氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Stroncik Nicole・IODP第334次研究航海乗船研究者	
15：30 T17-O-5 Costa Rica浸食型沈み込み帯における応力および構造解析：IODP Expedition 334の速報。 山本由弦・林 為人・白井洋一・金松敏也・齋藤実篤・Zhao Xixi・橋本善孝・氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Expedition 334乗船研究者	
15：45 T17-O-6 制御震源探査に基づく伊豆小笠原弧多重衝突・沈み込み構造。 新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志・阿部 進・平田 直	
16：00 T17-O-7 南海トラフ付加体の構造形態：コア－坑内検層－震探データの比較。 山田泰広・McNeill Lisa・Moore Casey・中村恭之	
16：15 T17-O-8（招待） Splay faults show above-lithostatic fluid pressures and flow from deep sources, Kumano NanTroSEIZE transect, SW Japan. J. Casey Moore・Myles Barrett・Moe Kyaw Thu	
16：30 T17-O-9 過去の沈み込みプレート境界地震断層における弾性波速差と異常流体圧の推定：四国白亜系四万十帯牟岐メランジュ。 橋本善孝・土居憲昭・辻 健	
16：45 T17-O-10 Submarine and on land comparison between Nankai Trough and Miura-Boso prisms：Results of submersible study. 小川勇二郎・川村喜一郎・安間 了・道口陽子・村岡 諭・乗船および陸上研究者YK05-08 Leg 2 and YK08-04	
17：00 T17-O-11 海底地すべりの発生メカニズム－南海トラフと日本海溝－。 川村喜一郎・金松敏也	
17：15 T17-O-12 東南海地域における過去約4000年間の古津波記録。 藤野滋弘・木村治夫・宍倉正展・小松原純子・行谷佑一	
17：30 T17-O-13 南海トラフ分岐断層物質の示す摩擦速度依存性と変形組織。 堤 昭人・氏家恒太郎・Fabbri O.	
17：45 T17-O-14 南海トラフ付加体のタービダイト起源泥岩と半遠洋性泥岩の力学的・水理学的性質の相違。 金川久一・東 修平・高橋美紀・井上厚行	
18：00 T17-O-15 断層ガウジにおける摩擦発熱と高速せん断指標確立に向けた実験的研究：南海付加体巨大分岐断層の例。 仲小路理史・氏家恒太郎・堤 昭人	
18：15 T17-O-16 日本列島のテクトニクスと東日本巨大地震。 新妻信明	

■MEMO■

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

9月11日（日）午前

会場	講堂
	S2. 大規模災害のリスクマネージメント—東北地方太平洋沖地震に学ぶ— 座長：藤本光一郎（1-4）、木村 眞（5-7）、天野一男（8-9）
9:00	9:00 はじめに。 日本地質学会会長
	9:05 東北日本太平洋沖地震と今後の地震長期評価。 S2-O-1（招待） 島崎邦彦
	9:35 大規模地震・火山災害と国際的リスク情報の共有。 S2-O-2 佃 栄吉
	9:55 大規模自然災害と高レベル放射性廃棄物地層処分リスクマネージメント。 S2-O-3 高橋正樹・吉田英一
	10:15 大規模災害による地すべり災害とリスクマネージメント。 S2-O-4（招待） 井口 隆
	10:45 学校教育・市民教育における大規模災害リテラシー。 S2-O-5 紺谷吉弘
	11:05 大規模災害とジャーナリズム。 S2-O-6（招待） 井上能行
	11:35 総合討論。
	11:55 おわりに。 日本鉱物科学会会長

人文10	
R9. 変成岩とテクトニクス	
座長：池田 剛（1-4）、佐藤 桂（5-8）、坂野靖行（9-12）	
9:00	R9-O-1 A Preliminary View of Metamorphic Rocks from Schwaner Mountains—West Kalimantan and Bantimala Complex—South Sulawesi, Indonesia. セティアワン ヌグロホ ・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・米村和紘・吉本 紘・ワヒュディオノ ジョーコ
9:15	R9-O-2 ベトナム縦貫造山帯に分布する苦鉄質変成岩類の地球化学的特徴。 米村和紘 ・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・馬場壮太郎
9:30	R9-O-3 東南極リュツォホルム岩体の石灰珪質岩のトリウムとウランに富むスフェーンの記載岩石学的研究。 佐藤 桂 ・Ellis David, J.・Christy Andrew, G.・廣井美邦
9:45	R9-O-4 東南極リュツォホルム岩体最高温度部の温度圧力流体履歴の再検討—第52次南極地域観測隊調査報告—。 角替敏昭 ・Dunkley D.J.・宮本知治・加藤陸実
10:00	R9-O-5 スリランカ中央部に産するチャーノッカイトの斜方輝石生成反応。 山崎由貴子 ・池田 剛・本吉洋一・廣井美邦・ブレーム パーナード
10:15	R9-O-6 ゴンドワナ大陸の先カンブリア時代花崗岩類・変成岩類—山口大学における標本保存—。 加納 隆
10:30	R9-O-7 Preiswerkite and hognomite occurrences within garnets in the Aktyuz eclogite, Northern Tien-Shan, Kyrgyzstan. OROZBAEV Rustam ・YOSHIDA Kenta・BAKIROV Apas・HIRAJIMA Takao・TAKASU Akira・SAKIEV Kadyrbek・TAGIRI Michio
10:45	R9-O-8 連続反応によるざくろ石組成およびざくろ石-普通角閃石コロナの局所全岩組成の累帯構造。 池田 剛
11:00	R9-O-9 ケリファイトのテクトニクス（その2）：変成反応の体積変化、内部応力、物質移動の相互連関。 小畑正明 ・清水以知子
11:15	R9-O-10 接触変成岩への適用を通じて得られたラマン炭質物温度計の実用に関するいくつかの知見。 青矢陸月 ・瀧瀬佑衣・遠藤俊祐・清水瞳・水上知行・中村大輔・ウォリス サイモン
11:30	R9-O-11 炭質物の温度上昇に伴う構造変化とラマンピーク半値幅を用いた低温領域に適用可能な温度計の開発。 瀧瀬佑衣 ・水上知行・青矢陸月・原 英俊・中村大輔・遠藤俊祐・ウォリス サイモン
11:45	R9-O-12 炭質物ラマン分光分析を用いた、中央構造線近傍・三波川帯における剪断熱検出。 森 宏 ・ウォリス サイモン・藤本光一郎・重松紀生

人文11	
R2. 結晶構造・結晶化学・物性・結晶成長・応用鉱物	
座長：三宅 亮・栗林貴弘（01-04）、永瀧真理子・吉朝 朗（05-08）、杉山和正・奥部真樹（09-12）	
9:00	R2-01 Mg(OD) ₂ の高温中性子回折実験。 永井隆哉 ・佐野亜沙美・飯塚理子・鍵 裕之
9:15	R2-02 三宅島産灰長石巨晶に産するAl/Si完全無秩序型灰長石：Al-排除則のブレイクスルー。 越後拓也 ・星野美保子・木股三善・清水雅浩・松井智彰・西田憲正
9:30	R2-03 足摺岬産のTiに富むferriallanite-(Ce) の結晶化学的研究。 永瀧真理子 ・今岡照喜・中島和夫
9:45	R2-04 フィンランドOutokumpu産のCrとVに富む低結晶性クリノゾイサイトの結晶化学的研究。 永瀧真理子 ・Armbruster Thomas・Herwegh Marco・Pettke Thomas・Lahti Seppo・Grobety Bernard
10:00	R2-05 合成メリライトの4配位席におけるFe ³⁺ の分布および変調構造の関係。 濱田麻希 ・赤坂正秀
10:15	R2-06 クロム鉄鉱の四面体席を占有する2価鉄によるヤーン・テラー効果の圧力依存性。 興野 純 ・グラムシュ ステファン・山中高光・生田大穰・アハート ムッタ・ミセン ビョルン・マオ ホクオン・ヘルレー ラッセル
10:30	R2-07 Charoite; the elaborate crystal structure determined in TEM. Toshihiro Kogure ・Eiji Abe・V.A. Drits・I.V. Rozhdestvenskaya
10:45	R2-08 斜長石のC-I⇌I-I相境界の再検討。 野本哲也 ・三宅 亮・下林典正
11:00	R2-09 XAFS法によるK-T境界粘土層中の微量元素の局所構造解析。 奥部真樹 ・吉朝 朗・王 玲・仲谷友孝・中塚晃彦・宮脇律郎
11:15	R2-10 PbTiO ₃ , BaTiO ₃ , SrTiO ₃ ペロブスカイトの相転移とXANESプレッジの温度変化。 仲谷友孝 ・平床竜矢・奥部真樹・武田隆史・村井啓一郎・吉朝 朗
11:30	R2-11 K-cymriteの構造と特異な ²⁹ Si NMR特徴。 薛 献宇 ・神崎正美
11:45	R2-12 蛍光・ラマンマッピング分析によるコランダム中の包有物周辺の残留応力成分の可視化。 野口直樹 ・阿依アヒマディ・小竹翔子・亀形菜々子・小松一生・鍵 裕之

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月11日（日）午前

会場	人文13	人文14	人文15
	R3. 高圧科学・地球深部	T13. ジルコンとマルチクロノロジー	T6. 火成作用と流体
	座長：境 毅 (01-06), 糀谷 浩 (07-12)	座長：岩野英樹 (1-5), 折橋裕二 (6-9), 小笠原正継 (10-12)	座長：吉村俊平・栗谷 豪 (01-06), 奥村 聡・吉村俊平 (07-11)
9:00	9:00 R3-01 アルバニア, ミルディータオフィオライト西帯かんらん岩体の岩石学的特徴: 中央海嶺起源マントルか? 榎村征之・森下知晃・Milusi Ibrahim	9:00 T13-O-1 フィッショントラック年代測定法の絶対年代較正. 檀原 徹	9:00 T6-01 Big Mantle Wedgeを通るスラブ由来流体の化学的探索. 山本順司・Kurz Mark・荒井章司・Prikhod'ko Vladimir
	9:15 R3-02 月隕石の α -PbO ₂ 型シリカ及びステイショバイトのTEM観察. 宮原正明・金子詳平・大谷栄治・境 毅・長瀬敏郎・平尾直久	9:15 T13-O-2 LA-ICP-MS-FT年代測定: 応用例にみる利点と欠点. 長谷部徳子・田村明弘	9:15 T6-02 放射光蛍光X線によるマグマと水流体の間の元素分配のその場観察: スラブ流体は塩水か? 川本竜彦・三部賢治・吉岡貴浩・黒岩健一・小木曾 哲
	9:30 R3-03 TiO ₂ -ZrO ₂ 系の高圧相関係と α -PbO ₂ 型固溶体の形成. 赤荻正樹・堀内七海・糀谷 浩	9:30 T13-O-3 ジルコン (U-Th) /He法とマルチクロノロジー. 山田国見	9:30 T6-03 マントル温度構造とアダカイト生成. 中村仁美・岩森 光
	9:45 R3-04 高温高圧条件下での炭酸塩鉱物の電気伝導度測定. 小野重明・三部賢治	10:00 T13-O-4 ジルコンフィッショントラックのannealing kinetics. 山田隆二・田上高広	9:45 T6-04 還元性スラブ由来メルト: 南東スペイン, タヤンテ地域のかんらん岩捕獲岩の例. 清水洋平・荒井章司
	10:00 R3-05 温度1100K, 圧力60GPaまでのフェロペリクレイスの準静水圧縮. 松井正典・伊藤英司・山崎大輔・芳野 極・Guo X.・Shan S.・岡本義広・肥後祐司・舟越賢一	10:15 T13-O-5 同一ジルコン粒子のFTおよびU-Pb年代測定に関する評価. 岩野英樹・折橋裕二・平田岳史・檀原 徹	10:00 T6-05 活動的火山における深部二酸化炭素の輸送現象の実態. 吉村俊平・中村美千彦
	10:15 R3-06 高圧ラマン測定によるカルシウムフェライト型MgAl ₂ O ₄ のグリーンナイゼン定数の決定. 糀谷 浩・赤荻正樹・トエベンス ダニエル	10:15 T13-O-6 SHRIMPを用いたジルコンU-Pb年代測定の実況. 堀江憲路	10:15 T6-06 斜長石-玄武岩質メルト間の水素の分配実験. 浜田盛久・潮田雅司・高橋栄一
	10:30 R3-07 Garnet中のSi-Al相互拡散と沈み込むスラブの密度進化. 西 真之・久保友明・大藤弘明・加藤 工・西原 遊・入船徹男	10:30 T13-O-7 東南極Howard Hillsの変成岩中の鉱物および山鹿地域はんれい岩体に産する珪長質変成岩中のジルコンのU-Pb年代 ~表面電離型質量分析計によるU-Pb分析の例~. 宮本知治	10:30 T6-07 岩手火山-玄武岩質マグマの含水量. 栗谷 豪・吉田武義・木村純一・平原由香・高橋俊郎
	10:45 R3-08 マントル遷移層及び下部マントル上部におけるAlに富んだ相の含水量. 井上 徹・矢吹智美・坂本尚義	10:45 T13-O-8 ジルコン標準試料の意義とベトナム産単結晶ジルコン標準試料の準備. 小笠原正継・檀原 徹・福山蘭子・Hoang Nguyen・Lee Der-Chuen	10:45 T6-08 ソレアイトマグマに由来するカルクアルカリ岩について-箱根火山を例にして-. 石井輝秋
	11:00 R3-09 下部マントルにおける鉄のスピネル転移と構成相間の鉄の分配および相転移圧への影響. 藤野清志・浜根大輔・永井隆哉・瀬戸雄介・桑山靖弘・大藤弘明・新名 亨・入船徹男	11:00 T13-O-9 (招待) レーザーアブレーションICP質量分析法を用いたジルコンのU-Pb年代測定の実況と展望. 平田岳史・横山隆臣・牧 賢志・折橋裕二・岩野英樹・檀原有吾	11:00 T6-09 塩化カルシウム水溶液の熱容量の計算式について. 澁江靖弘
	11:15 R3-10 地球の内核の構造と物性. 大谷栄治・境 毅・鎌田誠司・福井宏之・パロン アルフレッド・平尾直久・大石泰生・瀬戸雄介	11:15 T13-O-10 低温領域の熟年代学的手法に基いた木曾・赤石山脈の隆起・剥蝕史. 末岡 茂・Kohn B.P.・田上高広・堤 浩之・長谷部徳子・田村明弘・荒井章司・池田安隆・狩野謙一・山田国見・平田岳史	11:15 T6-10 珪長質マグマ内でのガス移動メカニズム: 脆性破壊に伴う亀裂形成のその場観察. 奥村 聡・中村美千彦・上杉健太郎・中野 司
	11:30 R3-11 (Fe,Ni) ₃ S相の安定性と圧縮挙動. 境 毅・大谷栄治・寺崎英紀・鎌田誠司・平尾直久	11:30 T13-O-11 極東ネパールヒマラヤ変成岩のジルコンの挙動とテクトニクス. 今山武志・竹下 徹・Yi Keewook	11:30 T6-11 (招待) 火山ガスのCO ₂ /H ₂ O比と噴火ポテンシャルの関係. 大場 武
	11:45 R3-12 Experimental determination of carbon isotope fractionation between iron carbide melt and carbon: ¹³ C-enriched carbon in the Earths core? M. Satish-Kumar・H. So・T. Yoshino・M. Kato・Y. Hiroi	11:45 T13-O-12 ヒマラヤの変成岩ナップの前進と冷却のプロセス. 酒井治孝・檀原 徹・岩野英樹・折橋裕二・瀧上 豊	

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

9月11日（日）午前

会場	共通1大	共通32	共通33
	R4. 地球表層・環境・生命	R20. 古生物	R24. 地学教育・地学史
	座長：福士圭介（01-04），鈴木庸平（05-08），横山 正（09-12）	座長：石村豊穂（1-5），松原尚志（6-9）	座長：矢島道子（1-5），浅野俊雄（6-7）
9:00	<p>9:00 R4-01 土岐花崗岩体における深部地下水中のコロイド物質の鉱物学的キャラクター化。渡邊克晃・山本祐平・青才大介・水野崇・竹野直人・小暮敏博・鈴木庸平</p> <p>9:15 R4-02 福島原発事故によるCs土壌汚染の環境鉱物学。赤井純治・松下新・松本仁子</p> <p>9:30 R4-03 地球生命圏を対象としたナノ鉱物学的研究—直接観察と理論の融合を目指した取り組み—。鈴木庸平・渡邊克晃・小暮敏博・月村勝宏</p> <p>9:45 R4-04 地球における衝突破砕岩における炭素・REE含有物質。三浦保範</p> <p>10:00 R4-05 モンゴルダルハド湖沼堆積物の鉱物組成に記録された水質変動。瀧崎円香・阿部仁美・福士圭介・長谷部徳子・柏谷健二</p> <p>10:15 R4-06 風化モデルによる大氷河期時代の大气酸素レベルの考察。村上隆・菅崎良貴</p> <p>10:30 R4-07 初期原生代の風化帯におけるFe分配予測風化モデル。菅崎良貴・村上隆</p> <p>10:45 R4-08 砂岩の風化における化学的過程と物理的過程の相互作用。横山 正</p> <p>11:00 R4-09 AFMによる純水中でのbarite（001）表面の溶解その場観察。桑原義博</p> <p>11:15 R4-10 アコヤガイ幼生貝殻における炭酸カルシウム相について。横尾直樹・鈴木道生・鍵 裕之・小暮敏博</p> <p>11:30 R4-11 モノハイドロカルサイトの生成条件。西山理沙・宗本隆志・福士圭介</p> <p>11:45 R4-12 川崎ベントナイト鉱床における鉄ベントナイト相互作用の地球化学モデリング。福士圭介・Marty Nicolas・Tournassat Christophe・Gaucher Eric</p>	<p>9:00 R20-O-1 美濃帯と北米テキサスのベルム紀腕足類フォナーナ古生物地理学的類縁性。田沢純一・沈 忠樹</p> <p>9:15 R20-O-2 上部三畳系成羽層群の堆積環境と古植生復元。湯川弘一・孫 革・鈴木茂之</p> <p>9:30 R20-O-3 岡山県南西部，浪形地域に分布する「中新統」浪形層の貝類化石群。松原尚志</p> <p>9:45 R20-O-4 日本列島における鮮新—更新統長鼻類化石の時空間分布。近藤洋一</p> <p>10:00 R20-O-5 貝殻形状の理論形態空間における疑似連関。生形貴男</p> <p>10:15 R20-O-6 静的破砕剤（S-マイト）を用いた大型化石の採集。平山 廉・河野重範・蘭田哲平</p> <p>10:30 R20-O-7 紀伊半島四万十帯の古第三紀放射虫化石。鈴木博之</p> <p>10:45 R20-O-8 コケムシ炭酸塩殻は何を記録するのか？～コケムシ群体の定点観測と環境指標としての活用に向けた試み～。石村豊穂・兼子尚知・町山栄章</p> <p>11:00 R20-O-9 高分解能X線CTによる浮遊性有孔虫の三次元形態解析。遠藤孝義・佐々木 理・長濱裕幸</p>	<p>9:00 R24-O-1 校地の立地条件を生かした環境・防災教育の試み。紺谷吉弘</p> <p>9:15 R24-O-2 兵庫県における地学教育の普及活動。川勝和哉</p> <p>9:30 R24-O-3 環境倫理を考える環境教育を目的としたジオトレイルの試み。野井英明・太田泰弘・梅崎恵司</p> <p>9:45 R24-O-4 地質学研究を普及するツールとしての「ジオラボ」の実施。川端清司・石井陽子・塚腰 実・中条武司</p> <p>10:00 R24-O-5 教科書「地球の形と大きさ」にみる地学教育の変遷。浅野俊雄</p> <p>10:15 R24-O-6 八重樫七兵衛と宮古の地学教育。杉山了三・横田明広・小野寺弘幸</p> <p>10:30 R24-O-7 日本の女性地球科学者の嚆矢。矢島道子</p>

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3，R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

■9月11日（日）午前

会場	共通36		
	R18. 付加体		
	座長：辻 智大, 鎌田祥仁 (1-5)		
9:00	9:00	R18-O-1 尻屋崎地域のジュラ紀付加体における海山の衝突・崩壊による礫岩の形成過程. 木村 翔	
	9:15	R18-O-2 四国高知市で掘削されたチャート・砕屑岩シーケンスの470mコア試料に認められる岩相と変形相. 大野佳緒里・木村克己・久田健一郎・康 義英	
	9:30	R18-O-3 北部秩父帯におけるプレート内火成作用起源玄武岩類と遠洋性堆積岩の初生的関係. 辻 智大・榊原正幸	
	9:45	R18-O-4 紀伊半島四万十帯付加体の海底扇状地堆積体. 中屋志津男・坂本隆彦	
	10:00	R18-O-5 高知県南東部に位置する白亜系四万十帯に発達する断層帯の内部構造と透水性. 北村真奈美・向吉秀樹・廣瀬丈洋	
	R16. 石油・石炭地質学と有機地球化学		
	座長：横井悟 (1-3), 加藤 進 (4-6)		
	10:30	R16-O-1 三疊紀放射虫化石の発見に基づく千葉県北東部成東地域の基盤岩の同定とその特徴. 斎藤 真・川本友久	
	10:45	R16-O-2 新庄盆地北西部に分布する草薙層・古口層の浮遊性有孔虫化石. 加藤 進・井上洋子・三輪美智子	
	11:00	R16-O-3 Geochemistry of Papandayan and Cikuray Volcanoes: A Key to Reveal a Gondwana Continental Fragment beneath West Java, Indonesia and Its Implication for Hydrocarbon Exploration. Abdurrachman Mirzam・Masatsugu Yamamoto・Benyamin Sapiie	
	11:15	R16-O-4 関東地域の水溶性天然ガスに関する地質・地化学的研究. 佐藤貴幸・金子信行・前川竜男・猪狩俊一郎・棚橋 学・中嶋 健・森田澄人・坂田 将	
	11:30	R16-O-5 水溶性天然ガス鉱床の地質学的・地球化学的成立条件の検討. 金子信行	
11:45	R16-O-6 日本における非在来型炭化水素資源. 横井 悟		

共通3大	
T19. 関東平野の更新統層序とテクトニクス	
座長：中澤 努 (1-3), 水野清秀 (4-6), 鈴木毅彦 (7-9), 中里裕臣 (10-12)	
9:00	T19-O-1 関東平野中・西部における反射法探査断面と第四紀の特定層との対比に基づく地質構造の推定. 水野清秀・山口和雄・伊藤 忍・納谷友規・松島絢子
9:15	T19-O-2 沖積層基底地形の分布・形状から推定される深谷断層系の浅部地下構造. 石原武志・須貝俊彦・水野清秀
9:30	T19-O-3 (招待) 関東平野の更新統における地下水・溶存物質の挙動と層序・テクトニクスの統合的な理解に向けて. 林 武司・安原正也・網田和宏
9:45	T19-O-4 八潮GS-YS-2コアにみられる更新統下総層群の堆積サイクルとテフロクロノロジー. 坂田健太郎・中澤 努・中里裕臣
10:00	T19-O-5 関東平野中央部「大宮」「野田」地域における更新統下総層群の層序と地質構造：堆積盆沈降様式の地域差. 中澤 努・中里裕臣
10:15	T19-O-6 茨城県南部花室川低地にみられる最終氷期テフラ群. 中島 礼・大井信三・安藤寿男・吉田明弘・国府田良樹・工藤雄一郎・西本豊弘
10:30	T19-O-7 茨城県常陸台地における上部更新統木下層の再定義. 大井信三・横山芳春・安藤寿男
10:45	T19-O-8 下総層群地蔵堂層と藪層の浮遊性有孔虫多産層準. 野村正弘・金子 稔・石川博行
11:00	T19-O-9 茂原周辺の新更新統上総層群笠森層のテフラ層序. 中里裕臣・七山太・佐藤弘幸
11:15	T19-O-10 房総半島南端地域千倉層に挟まれる海底地すべり起源のスランプ堆積層の特性. 岩本広志・安房団体研究グループ
11:30	T19-O-11 関東平野西縁の丘陵を構成する鮮新～更新統の古地磁気層序と関東平野の発達史. 植木岳雪
11:45	T19-O-12 栃木・福島地域に分布する塩原大田原テフラの層位と層相に基づく噴出過程の復元. 河合貴之・鈴木毅彦

■MEMO■

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています. ※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

9月11日（日）午後

会場	人文10
	R9. 変成岩とテクトニクス
	座長：水上知行 (13-16), 中村大輔 (17-20), 遠藤俊祐 (21-23), 青矢睦月 (24-26)
14:30	14:30 R9-O-13 夜久野オフィオライト待ちの山岩体蛇紋岩の微細構造発達. 小森直昭 ・道林克禎
	14:45 R9-O-14 大陸リフト帯におけるマントル構造発達過程: Kilbourne Holeからん岩捕獲岩の微細構造解析と地震波特性. 佐津川貴子 ・道林克禎・アンソニー エリザベス・スターン ロバート・ガオ ステファン・リュウ ケリー
	15:00 R9-O-15 長崎変成岩の変成・堆積年代とその帰属. 堤 之恭 ・堀江憲路・宮下 敦・白石和行
	15:15 R9-O-16 三波川変成岩類の堆積から上昇まで. 宮下 敦 ・堤 之恭
	15:30 R9-O-17 三波川帯エクロジヤイトのゆっくり沈み込みと浮力上昇. 遠藤俊祐 ・ウォリス サイモン・壺井基裕・青矢睦月・上原真一
	15:45 R9-O-18 四国・別子地域三波川帯にエクロジヤイト変成作用の痕跡を探す. 榎並正樹 ・岡村充哉・櫻井 剛
	16:00 R9-O-19 和歌山県飯盛地域の三波川変成岩から産する石英及び曹長石と共存するNa輝石—三波川帯の変成圧力の推定. 坂野靖行 ・山田滋夫
	16:15 R9-O-20 マントルウェッジの含水化と構造発達の岩石学的枠組み. 水上知行 ・平松良浩・荒井章司
	16:30 R9-O-21 ボヘミア岩体・超高压—超高温変成岩に保持されたザクロ石組成累帯構造. 中村大輔 ・下林典正・白杵 直・平島崇男・スフォイツカ マルチン
	16:45 R9-O-22 チェコ共和国・ボヘミア山塊中に見出した火山岩様包有物の透過型電子顕微鏡観察. 三宅 亮 ・小林記之・廣井美邦・平島崇男
	17:00 R9-O-23 グラニュライト中のザクロ石中の火山岩様包有物: 大陸衝突型造山帯深部からの岩石の急速上昇・冷却の証拠. 廣井美邦 ・柳 綾彦・加藤睦美・小林記之・外田智千・本吉洋一・白石和行・石川正弘・サティッシュクマール M
	17:15 R9-O-24 深成岩貫入岩体の周囲の応力場: 接触変成面構造パターンの多様性. 増田俊明 ・松村太郎次郎・大森康智
	17:30 R9-O-25 領家変成帯から見出される拡散クリープ—転位クリープ遷移とその条件. 宮崎智美 ・奥平敬元・篠田圭司・佐津川貴子・道林克禎
	17:45 R9-O-26 山陽帯と領家帯のマグマ活動継続時間. 中島 隆

会場	人文11
	R2. 結晶構造・結晶化学・物性・結晶成長・応用鉱物
	座長：杉山和正・奥部真樹 (13-14), 大藤弘明・長瀬敏郎 (15-20)
	14:30 R2-13 マグネサイトのカソードルミネッセンスにおける特異な試料温度効果. 西戸裕嗣 ・草野展弘・楨尾雅人・蜷川清隆
	14:45 R2-14 グラファイトからの六方晶ダイヤモンド直接変換合成と転移メカニズム. 大藤弘明 ・竹内洋貴
	15:00 R2-15 Goalparaエイレライト隕石中のn-diamond. 中牟田義博 ・藤 昇一
	15:15 R2-16 珪線石のムライト化中に観察される微細組織. 伊神洋平 ・三宅 亮・瀬戸雄介
	15:30 R2-17 ケリファイトの微細構造, 特にEBSDを用いた結晶方位関係の観察—その2: ざくろ石単斜輝岩の場合. 小畑正明 ・小澤一仁・吉田英人・上田匡将
	15:45 R2-18 オストワルド段階則における安定相の形成. 牲川菜月 ・北村雅夫・下林典正・三宅 亮
	16:00 R2-19 フラックス法によるアノーサイト結晶の育成 (II). 阿部利弥
	16:15 R2-20 Sodaliteを出発物質としたシュウ酸含有cancriniteの合成. 越後拓也 ・山田裕久・田村堅志・鈴木 達

会場	人文13
	T2. 月の地質探査と地球物理探査: アポロからセレーネ2まで (共催: 惑星科学会)
	座長：佐伯和人 (01-06)
	14:30 T2-01 SELENE-2における広帯域地震観測. 小林直樹 ・白石浩章・村上英記・竹内 希・岡元太郎・久家慶子・山田竜平・小川和津・鹿熊英昭・石原 靖・荒木英一郎・趙 大鵬・飯島祐一・川村太一・白井 慶・田中 智・早川雅彦・藤村彰夫・山田 功
	14:45 T2-02 SELENE-2 ミッションで目指す月高地地殻探査の目的と観測機器. 大竹真紀子 ・大嶽久志・本田親寿・佐伯和人・杉原 孝・諸田智克
	15:00 T2-03 レーザー絶縁破壊分光観測による月惑星表層物質の元素分析. 並木則行 ・石橋 高・荒井朋子・小林正規・千秋博紀・和田浩二・後藤和久・大野宗佑・松井孝典・長 勇一郎・杉田精司
	15:15 TS-04 月隕石とかぐやデータからわかる月トロクトライト地殻の鉱物学. 荒井朋子 ・大竹真紀子・廣井孝弘・佐々木 晶・松井孝典
	15:30 T2-05 アポロ試料の主要元素組成に基づく宇宙風化度の定量. 太田 亨 ・Fagan Timothy・天野嘉春・長谷部信行
	15:45 T2-06 月面破砕岩に富む炭素・REE含有物質. 三浦保範

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月11日（日）午後

会場	人文14	共通1大	共通33
	R7. 岩石・鉱物・鉱床学一般	T12. 地球史イベント大事件6	R25. 第四紀地質
	座長：木村光佑（1-5）、曾田祐介（6-9）	座長：小宮 剛（1-3）、黒田潤一郎（4-7）、尾上哲治（8-10）	座長：廣瀬孝太郎（1-3）、嵯峨山 積（4-6）、瀬戸浩二（7-9）、内山 高（10-13）
14：30	<p>14：30 R7-O-1 領家帯に産する高い帯磁率を示すアブライト. 星 博幸・太田貴子</p> <p>14：45 R7-O-2 太古代変成BIFの化学組成構造. 勝田長貴・清水以知子・高野雅夫・川上紳一・Helmstaedt H. H.・熊澤峰夫</p> <p>15：00 R7-O-3 ジルコンのSc/YおよびTh/U比の地質学的意味. 早坂康隆</p> <p>15：15 R7-O-4 東南極リュツオホルム岩体西オングル島産ペグマタイトの磁鉄鉱巨晶中の包有物. 川崎智佑・濱田翔太</p> <p>15：30 R7-O-5 未分化玄武岩と極端に分化した玄武岩. 伊集院 勇・石渡 明</p> <p>15：45 R7-O-6 男鹿半島第四紀火山岩と一の目湯下部地殻捕獲岩の成因関係. 山元正継・近藤 梓・丸山孝彦・加々美寛雄</p> <p>16：00 R7-O-7 東北地方中央部の小規模超苦鉄質岩体中に見られるクロムスピネル. 町田伶史・石渡 明</p> <p>16：15 R7-O-8 オマーンオフィオライト・フィズ岩体のマントルセクションに分布する二種類のダナイトについて. 末武杏奈・高澤栄一</p> <p>16：30 R7-O-9 オマーンオフィオライト北部・ヒルチ岩体の鉱物組成分布からみた海洋リソスフェアマントルの変遷. 高澤栄一・春日良一・山野井陽一</p>	<p>14：30 T12-O-1 中新世モントレイイベント以降の寒冷期における海洋Os同位体変動. 伊藤 孝・黒田潤一郎・Ravizza Greg</p> <p>14：45 T12-O-2 層状チャートのオスミウム同位体記録からみた三疊紀-ジュラ紀境界の海洋環境変動. 黒田潤一郎・堀 利栄・鈴木勝彦・大河内直彦</p> <p>15：00 T12-O-3 三疊紀新世における天体衝突と絶滅事変. 尾上哲治・佐藤峰南・中村智樹・野口高明・初川雄一・大澤崇人・小泉光生・藤 暢輔・海老原 充</p> <p>15：15 T12-O-4 ニュージーランド北島アローロックスにおける古生代/中生代直後の放散虫群集の変遷. 竹村厚司・小森はる奈・山北 聡・鎌田祥仁・相田吉昭・堀 利栄・高橋 聡・池田昌之・スポーリ パーナード・キャンベル ハイミッシュ</p> <p>15：30 T12-O-5 スヴァールバル諸島の後期原生代の地層に保存された表層環境変動. 澤木佑介・田畑美幸・吉屋一美・西澤 学・小宮 剛・丸山茂徳・平田岳史</p> <p>15：45 T12-O-6 西ビルバラ、太古代中期のクリバービル地域に見られる横ずれ堆積盆の形成時期の推定. 竹原真美・清川昌一・堀江憲路・伊藤 孝・池原 実・山口耕生・坂本 亮・永田知研・相原悠平</p> <p>16：00 T12-O-7 太古代中期/原生代初期の海底堆積層序比較. 清川昌一・伊藤 孝・池原 実・山口耕生・坂本 亮・竹原真美・寺司周平</p> <p>16：15 T12-O-8 地球史を通じた大気海洋CO₂濃度変化. 渋谷岳造・小宮 剛・高井 研・丸山茂徳</p> <p>16：30 T12-O-9 (招待) 火星・タイタンの表層環境大変動イベントと地球環境進化への示唆. 関根康人</p> <p>16：45 T12-O-10 スーパーアースとプレートテクトニクス. 小宮 剛</p>	<p>14：30 R25-O-1 北海道に分布する赤色土-最終間氷期における赤色土の生成北限に関して-. 仲川隆夫</p> <p>14：45 R25-O-2 北海道石狩低地～長沼低地の第四系層序の検討. 嵯峨山 積・藤原与志樹・井島行夫・岡村 聡・山田悟郎・近藤 務・外崎徳二</p> <p>15：00 R25-O-3 北海道網走湖に記録された過去350年間の環境変化. 瀬戸浩二・岡崎裕子・中島広海・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聰</p> <p>15：15 R25-O-4 富士五湖の形成史. 内山 高・興水達司</p> <p>15：30 R25-O-5 瀬戸内海における近過去の珪藻群集変化と人為的環境改変の関係. 廣瀬孝太郎・吉岡 薫・佐古恵美・入月俊明</p> <p>15：45 R25-O-6 瀬戸内海児島湾における最近の底生有孔虫群集の変化. 辻本 彰・野村律夫・福田賢一・河野重範</p> <p>16：00 R25-O-7 奄美大島住用湾和瀬サンゴ礁における土石流災害後の変化. 秋元 和實・矢北孝一・外村隆臣・竹内俊英・柴田成晴・中野浩一・吉津 憲</p> <p>16：15 R25-O-8 大阪平野北東部におけるアズキ火山灰の発見とその意義. 末廣匡基・横田 裕</p> <p>16：30 R25-O-9 鹿沼土及びその上位層の有する重金属吸着能力の検討 その2. 宮田昌幸・齊藤真喜・北瀬（村上）晶子・香村一夫</p> <p>16：45 R25-O-10 底質土壌中の球状炭化粒子と重金属元素から見た東アジア地域の越境汚染史の検討. 佐藤亮介・前田篤志・北瀬晶子・香村一夫・吉川周作・山崎秀夫・林 在洙・金 周龍・YANG Dong-Yoon</p> <p>17：00 R25-O-11 東南極・高塩分塩湖すりばち池に記録された後期完新世の古環境と古気候変動. 中島広海・瀬戸浩二・香月興太・金子 亮・山田和芳・伊村 智</p> <p>17：15 R25-O-12 最終間氷期における北西太平洋の鉛直水塊変動. 安富友樹人・本山 功・安間 了・大場忠道・池原 実・板木拓也</p> <p>17：30 R25-O-13 東南極セール・ロンダーネ山地における更新世以降の氷床変動史の復元. 菅沼悠介・三浦英樹・Zondervan Albert</p>

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします.

■9月11日（日）午後

会場	共通36	
	R14. 炭酸塩岩の起源と地球環境	
	座長：山田 努 (1-4), 中森 亨 (5-8), 比嘉啓一郎 (9-12)	
14:30	14:30 南中国と北中国地塊のカンブリア紀からオルドビス紀前期にみられる礁の変遷と特異性－海洋環境の地球生物学的な洞察－. 江崎洋一・劉 建波・足立奈津子・小谷綾香	R14-O-1
	14:45 ミシシッピ/ペンシルバニア亜紀境界の海洋古環境と秋吉石灰岩の発達過程. 比嘉啓一郎・秋山哲男・村上達郎	R14-O-2
	15:00 秋吉石灰岩中部ペルム系の海綿－被覆性微生物群集：パンサラッサ海洋島上での礁進化のなかでの位置づけ. 中澤 努・上野勝美・川幡穂高・藤川将之	R14-O-3
	15:15 ボリビア産白亜紀ストロマトライトの地球化学的分析による成因考察. 山梨純平・中森 亨・山根広大	R14-O-4
	15:30 ストロマトライトの実験古生物学的研究. 白石史人	R14-O-5
	15:45 メタン湧水性石灰岩の岩石組織から湧水挙動を復元する試み－長野県の中中新統別所層を例に－. 延原尊美・大捕由貴	R14-O-6
	16:00 久慈市内間木洞の石筍による東北地方北東部の古気候復元. 加藤大和・山田 努・富塚昌宏・菊地敏雄・岡本 透・松田博貴・吉村和久	R14-O-7
	16:15 龍神窟（宮城県気仙沼市）における鍾乳石形成環境とその季節変化. 山田 努・富塚昌宏・加藤大和・松田博貴・菊地敏雄・栗崎弘輔・吉村和久	R14-O-8
	16:30 トラバーチンに見られる弱酸性環境での酸素同位体分別. 狩野彰宏・奥村知世	R14-O-9
	16:45 方解石と水溶液間での希土類元素分配に関する実験的研究. 外山浩太郎・寺門靖高	R14-O-10
	17:00 鹿児島県トカラ列島小宝島東方沖陸棚上での礁岩の発見とその意義. 松田博貴・荒井晃作・井上卓彦・町山栄章・吉津 憲・三納正美・堺 理紗子・佐々木圭一・井龍康文・中森 亨・山田 努・藤田和彦・杉原 薫	R14-O-11
	17:15 造礁サンゴ骨格の三次元分布. 中森 亨・佐々木 理	R14-O-12

共通3大		
R17. 岩石・鉱物の破壊と変形		
座長：奥平敬元 (1-4), 武藤 潤 (5-9)		
14:30	14:30 断層欠陥場と応力関数曲面の曲率. 山崎和仁・谷島尚宏・岩山隆寛	R17-O-1
14:45	14:45 異方性媒質中の地震波線とフィンスラー幾何学. 長濱裕幸・谷島尚宏・山崎和仁	R17-O-2
15:00	15:00 ピンオンディスク摩擦試験による石英非晶質化. 中村 悠・武藤潤・長濱裕幸・三浦 崇・荒川一郎	R17-O-3
15:15	15:15 石英の粉碎粒子の形態・結晶化度・溶解熱に関する新知見とその展望. 滝沢 茂・西川 治・武藤 潤・小澤佳奈・大槻憲二郎・清水雅浩	R17-O-4
15:30	15:30 高温高間隙水圧下での蛇紋岩のすべり特性. 岡崎啓史・片山郁夫・高橋美紀	R17-O-5
15:45	15:45 中央構造線を貫くボーリングコアの脆性小断層における鉱物組成の統計解析. 田中伸明・藤本光一郎・重松紀生	R17-O-6
16:00	16:00 中央構造線を貫く連続コアによる断層帯内部構造解析と内陸地震. 藤本光一郎・田中伸明・重松紀生・森 宏・ウォリス サイモン	R17-O-7
16:15	16:15 領家変成帯における歪みの局在化. 奥平敬元・重松紀生	R17-O-8
16:30	16:30 鳥取県西部地域における低活動性活断層の断層岩解析. 窪島光志・小林健太	R17-O-9

■MEMO■

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月9日（金） コアタイム12：00-13：30 大学会館（茨苑会館 Shien-Hall）

T1. 岩石-水相互作用

T1-P01

ボーリングコア試料の岩石磁気学的特性に基づく堆積岩微細ファブリック：北海道幌延地域に分布する稚内層の例。井上貴至・伊藤康人

T1-P02

含水鉱物起源の脱水流体を包有した流体包有物の合成法の開発。大井修吾・小木曾 哲・三宅 亮

T1-P03

東南極Lutzow-Holm岩体に産する貫入岩の産状と周辺に点在する加水反応の組織。宮本知治・角替敏昭・Dunkley Daniel J.

T1-P05

飽和蒸気圧下におけるかんらん石-水・斜方輝石-水系における加水反応の進行。小笠原由一・岡本 敦・土屋範芳

T3. 東日本における活火山の長期活動評価と防災対策

T3-P01

安達太良火山12万年前の噴火復元。藤原健一郎・藤縄明彦・長谷川 健

T3-P02

宮城県鳴子火山における火砕流堆積物の岩石学的検討。伊藤なつみ・藤縄明彦

T3-P03

秋田駒ヶ岳火山，主成層火山体東部地域の地質と岩石。小畑大樹・藤縄明彦・木村敬介

T3-P04

岩手県高倉火山群，丸森火山の地質と岩石。土屋沙亜武・藤縄明彦・長谷川 健

T3-P05

下北半島中部に分布する大畑層の地質。戸田成太郎・大場 司・小林 淳・林 信太郎

T3-P06

1640年北海道駒ヶ岳噴火の山体崩壊にともなう津波堆積物。伊藤和夫・永井 潤・岡村 聡・嵯峨山 積

T7. Rocks and mineral resources of Mongolia and Northeast Asia

T7-P01

Petrology and geochronology of pelitic gneisses in the Hanhoiyin Mountains, the northwestern part of Mongolia. Tatsuuro Adachi・Yasuhito Osanai・Nobuhiko Nakano・Masaaki Owada・M. Satish-Kumar・S. Jargalan・C. Boldbaatar・Kazuhiro Yonemura・Aya Yoshimoto

T7-P02

High-Al-Mg gneisses and related rocks from the Mongolian Altay Mountains. Nobuhiko Nakano・Yasuhito Osanai・Tatsuuro Adachi・M. Satish-Kumar・Masaaki Owada・Sereenen Jargalan・Chimedtseie Boldbaatar・Kazuhiro Yonemura・Aya Yoshimoto

T7-P03

Garnet, Clinopyroxene megacrysts and Garnet-bearing mantle xenoliths from the Tariat Depression, Mongolia. Yasuhito

Osanai・Nobuhiko Nakano・Tatsuuro Adachi・Masaaki Owada・M. Satish-Kumar・Sereenen Jargalan・Chidm Boldbaatar・Kazuhiro Yonemura・Aya Yoshimoto

T7-P04

Stable isotope study of metacarbonate rocks from western Mongolia: Implications for fluid-rock interaction processes in the Central Asian Orogenic Belt. M. Satish-Kumar・Y. Osanai・N. Nakano・A. Kamei・S. Jargalan・C. Boldbaatar・M. Owada・T. Adachi・K. Yonemura・A. Yoshimoto

T7-P05

Petrological and fluid inclusion studies of pelitic schists from Bodonch area, western Mongolian Altai. Oyun-Erdene Zorigtkhuu・Toshiaki Tsunogae・Batulzii Dash

T7-P06

Blueschists and related metamorphic rocks along the Tayuan-Xiguitu Fault in Inner Mongolia, NE China. Limin Zhao・Akira Takasu・Yongjiang Liu・Weimin Li

T7-P07

Sillimanite-cordierite bearing pelitic gneiss from the Mt. Sangun area, North Kyushu. Daisuke Hyodo・Masaaki Owada

T7-P08

Thermal structure of the low-grade part of Ryoke belt in the Yanai district, Yamaguchi prefecture, southwest Japan. Takahiro Midorikawa・Masaaki Owada

T8. モホ点描一超深部掘削計画で何がみえてくるのか？

T8-P01

海洋地殻地震波構造の解釈 ～フィリピン海ゴジラメガマリオンを例として～。道林克禎・針金由美子・小原泰彦

T8-P02

海洋マントル最上部：海洋底かんらん岩からわかったこと，わからないこと。森下知晃・谷 健一郎・ヘルブランド エリック

T8-P03

Concordant and discordant podiform chromitites in the Zambales Ophiolite Complex, Philippines. Betchaida Duetes Payot・Shoji Arai・Rodolfo Jr. Tamayo

T8-P04

北部オマーンオフィオライト，ワジ・スクバのモホ遷移帯ダナイト中の磁鉄鉱-硫化物からなる複合粒子。根岸絨規・荒井章司・田村明弘・石丸聡子

T8-P05

リザード・オフィオライトにおける非調和性ダナイトの成因。高野翔平・荒井章司・田村明弘

T8-P06

クロムスピネル中の微細包有物の検討：北部オマーンオフィオライト，Wadi Hiltiの調和性・非調和性クロミタイト。三浦 真・荒井章司・奥野正幸・水上知行・Ahmed Hassan Ahmed・山本伸次

T15. 地球表層環境解読と生命進化

T15-P-1

バーバートン帯・32億年前マペベ層における岩相と有機炭素量の

変化について。寺司周平・清川昌一・伊藤 孝・池原 実・山口耕生

T15-P-2

石垣島の鍾乳石（石筍）から読み取る過去の気候変動。鹿山泰・坂井三郎・岡本和明

R1. 鉱物記載・分析評価

R1-P01

岡山県高梁市布賀鉱山産の新種，島崎石（shimazakiite），Ca₂B_{2-x}O_{5-3x}(OH)_{3x}（x=0-0.06）。草地 功・小林祥一・武智泰史・中牟田義博・長瀬敏郎・横山一己・宮脇律郎・重岡昌子・松原 聡

R1-P02

千葉石後の石英仮晶の内部組織。門馬綱一・長瀬敏郎・栗林貴弘・重岡昌子

R1-P03

新潟県糸魚川産のヒスイ輝石岩中の希土類・ストロンチウム・チタンを主成分とするケイ酸塩鉱物。宮島 宏・宮脇律郎・松原聡・横山一己・門馬綱一・重岡昌子・杉山和正・織田宗男

R1-P04

新潟県糸魚川市金山谷産黒ひすいに含まれる炭質物の鉱物学的検討。小河原孝彦・赤井純治

R1-P05

群馬県沼田市産の鉛を含む燐灰石グループ鉱物 — 緑鉛鉱，燐ヘディフェン，ミメット鉱，バナジン鉛鉱 —。平間敏之・山田隆・塩原嘉昭・中村秀樹・小菅康寛・藤原 卓

R1-P06

兵庫県新井鉱山産Cuに富むラムスベック石。大西政之・下林典正・浜根大輔

R1-P07

京都府和東町石寺地域の石英脈から産するウェッデル石。大西政之・下林典正・鶴田憲次

R1-P08

京都府和東町石寺地域の石英脈中のタングステン鉱物：anthoinite, mpororoiteおよびFe-free hydroknoelsmoreite。下林典正・大西政之・鶴田憲次

R1-P09

木浦エメリー鉱床産Oxy type tourmaline。小山貴史・皆川鉄雄・大越悠数・濱根大輔

R1-P10

岐阜県中津川市福岡鉱山産ユークレース石。石橋 隆・宮脇律郎・重岡昌子・松原 聡・萩原昭人

R1-P12

宮城県大崩山花崗岩中のLiベグマタイト産hamborgiteとelbaite。上原誠一郎・今井裕之・岡田敏朗

R1-P13

宮城県大崩山花崗岩ベグマタイト中に産するレアアース鉱物。藤井勇樹・上原誠一郎

R1-P15

香川県手島産Dy-rich agardite-(Y)。國枝拓司・皆川鉄雄・大越悠数

R1-P16

愛媛県高縄山産YTaO₄鉱物の再検討。浜根大輔・大越悠数・皆川

*R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

*プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

*日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち，講演番号が抜けている講演は，「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）。

■9月9日（金） コアタイム12：00-13：30 大学会館（茨苑会館 Shien-Hall）

鉄雄
R1-P18
 東松浦玄武岩に産する新鉱物，肥前石とイトリウムラブドフェン． 高井康宏・上原誠一郎
R1-P19
 四国の鉄マンガニ鉱床に伴われる希土類鉱物． 富田宣光・皆川鉄雄・豊 遙秋
R1-P20
 ノルウェイ産のMnを含むヘランド石． 宮脇律郎・門馬綱一・横山一己・重岡昌子・松原 聰・伊藤美久・中井 泉・クリスチャンセン ロイ
R1-P21
 サウジアラビアのジャバルタウラ花崗岩産のYF₃鉱物について． 星野美保子・守山 武・渡辺 寧・宮脇律郎・平野英雄・恒松麻衣子
R1-P22
 西南北海道八雲町，館平マンガニ鉱床産鉱石における鉱物組合せとその成因． 森下智弘・松枝大治
R1-P23
 山形県米沢市関根蛇紋岩体に産するニッケル鉱物． 五十公野裕也・中島和夫
R1-P24
 東赤石かんらん岩に伴うNi-As-Sb系metalloid alloys． 門田 亮・皆川鉄雄・大越悠数・濱根大輔
R1-P26
 SDWかんらん岩類（幌満岩体）の成因． 千川智弘・荒井章司・高橋奈津子・三浦 真
R1-P27
 ハルツバガイイトへの単斜輝石の付加による鉄に富むレールゾライトの生成：愛媛県新宮捕獲岩の例． 井上昌子・荒井章司・田村明弘
R1-P28
 著しくシリカに不飽和なマグマに包有された捕獲岩の特徴：岡山県加治子山ベイサナイトの例． 出口大輔・荒井章司
R1-P29
 鹿児島県竹島産灰長石巨晶． 松井智彰・荒川洋二・木股三善・西田憲正・星野保子・越後拓也
R1-P30
 月長石のシラーについて． 青島瑛子・牧野州明
R1-P31
 ブラックギャラクシーの金属光沢とイルメナイトの関係． 佐藤永太郎・牧野州明・津金達朗
R1-P32
 東南極，日の出岬に産する藍晶石の微細コロナ組織． 孫 羽・廣井美邦
R1-P33
 山陰海岸周辺地域に産出する花崗岩中MagnetiteのFe²⁺空孔量の研究． 松山 寛・篠田圭司
R1-P34
 造岩鉱物中の酸素の高精度EPMA定量分析法． 加藤典典・WALLIS Simon

R1-P36
 音響光学的可変フィルター（AOTF）を利用したイメージング・ラマン分析装置の改良． 榎並正樹・加藤典典・秋元克美
R1-P38
 シンクロトロンガンダルフカメラの評価と鉱物科学への応用． 田中雅彦・中村智樹・野口高明・勝矢良雄・松下能孝
R1-P39
 アルカリ長石のルミネッセンス． 須田雄太・牧野州明・中野聰志
R1-P40
 メスパウアー分光法で求めた不定比性Magnetiteの空孔量と格子定数の関係． 谷口隆文・篠田圭司・小林康浩
R1-P41
 メスパウアー分光法と粉末X線回折法による天然マグネタイトの空孔量測定． 富田千尋・篠田圭司・小林康浩
R6. 深成岩・火山岩及びサブダクションファクトリー
R6-P-1
 白亜紀防府バソリス構成岩石の化学組成とRb-Srアイソクロン年代． 山脇恵理香・今岡照喜・亀井淳志
R6-P-2
 仰木トータル岩に産する斜方輝石を含む花崗岩質岩のジルコンU-Pb年代． 高谷真樹・牧 賢志・横山隆臣・平田岳史・平島崇男
R6-P-3
 カソードルミネッセンスを用いたジルコンの結晶成長観察． 土屋裕太・能美洋介・西戸裕嗣
R6-P-4
 斜長石のカソードルミネッセンス像に記録されたマグマ溜まりプロセス—小豆島・田ノ浦火成複合岩体の例—． 松井一貴・吉倉紳一・西戸裕嗣・鹿山雅裕
R6-P-5
 北部日高帯下川岩体における現地性緑色岩の起源と発泡現象の検討． 加藤聡美・宮下純夫
R6-P-6
 海洋性島弧地殻の初期形成プロセス：オマーンオフィオライトにおける後期貫入岩類の地球化学． 山崎秀策・宮下純夫
R6-P-7
 ゴンドワナ超大陸Kuunga造山帯における珪長質火成活動の証拠． 渡邊沙織・加々島慎一
R6-P-8
 古生代海洋内島弧における地殻進化． 隅田祥光・木村光佑・早坂康隆
R6-P-9
 日本国—三面—棚倉マイロナイト帯に位置する梅峰東面の白亜紀—古第三紀トータル岩について． 加々島慎一・佐藤 翔
R6-P-10
 朝日山地，西朝日複合塩基性岩体における岩石学的研究． 村瀬豪・加々島慎一・渡辺幸治
R6-P-11
 新潟県中部，上越帯の中ノ岳変斑れい岩体の岩石学的研究． 森本雄介・石渡 明
R6-P-12
 島根県奥出雲地域に分布する竹崎花崗閃緑岩の地質学的・岩石学

的特徴． 岩田智加・亀井淳志
R6-P-13
 丹沢トータル岩複合岩体中の同時性岩脈および苦鉄質包有岩の産状と全岩化学組成． 金丸龍夫・高橋正樹
R6-P-14
 添田花崗閃緑岩に産する同時性苦鉄質岩体の産状と化学組成． 柚原雅樹・眞崎求一
R6-P-15
 蔵王・五色岳火砕岩をもたらした地殻内マグマプロセス． 足立辰也・佐藤 光・伴 雅雄
R6-P-16
 白亜紀後期多斑晶流紋岩の火成活動． 植木忠正・原山 智・池田知也・天藤寛子・小池裕貴
R6-P-17
 桜島火山の第四紀マグマの起源． 鈴木 淳・柴田知之・小林哲夫・味喜大介
R6-P-18
 開放系マグマプロセスによる斑晶の同位体累帯構造の数理モデル． 西村光史・高木哲一

R8. 噴火・火山発達史と噴出物

R8-P-1
 鬼界アコホヤテフラにおけるマグマ混交・混合． 遠藤晴美・柳原正幸・佐野 栄
R8-P-2
 神奈川県小田原市風祭に分布するHk-T (pfl) 溶結凝灰岩の層位的意義． 笠間友博
R8-P-3
 中新世大規模火砕流堆積物の遠地での層序と堆積相：奈良市石仏凝灰岩層と室生火砕流堆積物． 佐藤隆春・中条武司・和田隆隆・鈴木桂子
R8-P-4
 インドネシア，スンダ弧のカルデラ火山地域における先カルデラ活動の長期変化． 土志田 潔・竹内晋吾・古川竜太・高田 亮・Andreastuti Supriyati・Kartadinata Nugraha・Heriwaseso Anjar・Prambada Oktory

R10. 地域地質・地域層序

R10-P-1
 3,000m大深度ボーリングコアから推察される柏崎市周辺の地質層序及び地質構造． 内田淳一・小林源裕・堤 英明・道口陽子・阿部恒平・鎌滝孝信
R10-P-2
 富士川谷新第三系，いわゆる静川層群の層序と地質時代． 柴 正博・廣瀬祐市・延原尊美・篠崎泰輔・高木克将
R10-P-3
 安房層群最上部の浮遊性石灰質微化石と地質時代． 亀尾浩司・関根智之・濱田早苗・林 広樹
R10-P-4
 南房総千倉層群の酸素同位体層序． 所 佳実・岡田 誠・松田 瞳
R10-P-5
 神奈川県松田町南部，松田山の地質． 井崎雄介・林 広樹・小田

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション．R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです．講演番号は双方の学会の付け方に準じています．

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします．

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち，講演番号が抜けている講演は，「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）．

■9月9日（金） コアタイム12：00-13：30 大学会館（茨苑会館 Shien-Hall）

原 啓

R10-P-6

市民団体による三浦半島地質図の作成. 蟹江康光・柴田健一郎・蛭子貞二・鈴木 進・浅見茂雄・松崎健一・斉藤恵子

R10-P-7

福井県小浜市西部のジュラ紀古世放散虫化石を産する珪長質凝灰質泥岩の帰属. 菅森義晃・亀高正男

R10-P-8

兵庫県中東部, 超丹波帯柏原層からの放散虫化石 (予報). 竹村静夫・竹村厚司・植田一男・菅森義晃

R10-P-9

紀伊半島の四万十累帯上部白亜系, 竜神層の放散虫化石群集. 山本俊哉

R10-P-10

宮崎層群最下部層における有孔虫群集の層位的・地理的変異. 長谷川四郎・三浦 円

R10-P-11

北海道中央部に分布する中生界の岩石磁気. 伊藤康人・高嶋礼詩・美藤祐貴・井上貴至

R10-P-12

赤石山地南部, 四万十帯を切る右横ずれ断層破砕帯. 村松 武

R10-P-13

山形県白鷹町蒔沢周辺の花崗岩類. 大友幸子・碓 真実・横山一己

R10-P-14

関東山地東部, 浦山地域～横瀬町の秩父累帯 (その2). 加藤 潔

R10-P-15

神縄・国府津～松田断層帯北西部における活断層調査ボーリング. 小田原 啓・林 広樹・齋藤 勝・古澤 明

R10-P-16

大磯丘陵に分布する新第三系の微化石年代とテクトニクスについての再検討. 石浜佐栄子・山下浩之・平田大二・林 広樹・井崎雄介・小田原 啓

R10-P-17

八溝山地鶏足山塊における中生代付加体. 綿引麻衣子・笠井勝美・桜井 賢・天野一男

R10-P-18

北海道太平洋側海域の漸深海で浅い地質構造: 島弧～島弧衝突帯の東西. 辻野 匠・野田 篤・荒井晃作・井上卓彦

R10-P-19

2011年東北地方太平洋沖地震による茨城県北部の屋根瓦損壊. 柴田健一郎

R10-P-20

北部フォッサマグナ, 長野県荒倉山層火山岩類の産状と岩石学的研究. 業田顕行・山元正継

R10-P-21

棚倉断層周辺に分布する新第三系の堆積環境の復元. 滝本春南・天野一男

R10-P-22

長野県北部中条地域に分布する中新一鮮新統小川層および柵層の堆積環境. 代永佑輔・石田 桂

R10-P-23

房総半島中部更新統長浜層の堆積サイクルと粗粒セディメントウェーブ堆積物. 高岡進一・勝山 暁・伊藤 慎

R10-P-24

紀伊半島東部の四万十帯に分布する海溝充填堆積物の堆積相と堆積環境. 松田勇人・太田 亨

R10-P-25

日立カンブリア系からの化石様組織の報告. 田切美智雄

R10-P-26

豊橋市周辺から産出する高師小僧の形成時期. 加藤千茶子

R10-P-27

京丹後市網野町の海岸砂丘中の砂団塊. 小滝篤夫

R10-P-28

九州における秩父累帯のジュラ紀砂岩中の碎屑性ザクロ石とジルコンの比較. 池内瑠美・宮本隆實・早坂康隆・稲村研吾

R11. 地域間層序対比と年代層序スケール

R11-P-1

Brunhes-Matuyama境界年代値の再検討. 菅沼悠介

日本鉱物科学会ポスター発表賞エントリー講演（11件）

R1-P11

福岡県長垂ベグマタイト中のLi-tourmaline. 白勢洋平・上原誠一郎

R1-P14

領家花崗岩類に産するallaniteの二次鉱物の化学的検討. 福本辰巳・皆川鉄雄

R1-P17

弓削島産交代性スカルン中のNb-Ta鉱物. 大越悠数・皆川鉄雄

R1-P25

オマーンオフィオライトにおける地殻中のディオプシタイト: 高温熱水によるクロム移動の可能性. 秋澤紀克・荒井章司・上杉次郎・田村明弘

R1-P35

石英ラマン圧力計の較正に向けたざくろ石斑状変晶の高圧焼きなまし実験. 瀬藤佑衣・川崎智佑・榎並正樹

R1-P37

サブミクロンCHIME年代測定法の開発. 渡邊正和・加藤文典

R2-P13

HRTEM観察による京都府大江山接触変成岩体産pyribolesの蛇紋石化プロセスの動的過程. 山田翔輝・赤井純治

R2-P14

雪の砲弾集合の形成に関する理論と実験. 牲川菜月・北村雅夫・下林典正・三宅 亮・高谷真樹・兒玉 優

R5-P01

月隕石からの α -PbO₂型シリカの発見. 金子詳平・大谷栄治・宮原正明・境 毅・鹿山雅裕・西戸裕嗣・大石泰生・平尾直久

T1-P04

高度変成岩中に残された流体活動の痕跡－黒雲母の塩素濃度とジルコンの産状からの制約. 東野文子・河上哲生・サティッシュクマール・土屋範芳・石川正弘・グランサム ジェフ.

T5-P04

コンダライト（ザクロ石－珪線石片麻岩）のチャルノッカイト化過程の岩石学的研究. 加藤睦実・廣井美邦

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち, 講演番号が抜けている講演は, 「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です (9/9 [金] のエントリー講演を参照のこと).

■9月10日（土） コアタイム13：00-14：30 大会会館（茨苑会館 Shien-Hall）

T4. レオロジー 地殻からコアまで

T4-P01

微細流路内のNaCl析出に伴う結晶成長力のその場観察. 岡本敦・関根孝太郎

T5. 地殻流体のダイナミズム：変形および変成作用に及ぼす 流体の影響

T5-P01

フランシスカン帯の高圧変成岩ブロックの加水後退変成作用と流体不飽和な相平衡. 遠藤俊祐・森 宏・瀬藤佑衣・ウォリス サイモン

T5-P02

北海道神居古潭帯岩内岳超塩基性岩体にみられる蛇紋岩化作用の研究. 三好 茜・小木曾 哲

T5-P03

北海道旭川市西方に分布する神居古潭変成岩のテクトニクス. 岡本あゆみ・竹下 徹

T5-P05

グラニュライト相におけるカルシウム、鉄に富んだCO₂流体による交代作用とその弾性波速度への影響. 外間雄一・石川正弘

T5-P06

Sr and Nd isotopic constraint to the formation of migmatites from the Higo metamorphic terrane, Japan. Kenshi Maki・J. G. Shellnutt・T. W. Wu・Yasushi Mori・Kazuhiro Miyazaki・T. F. Yui・B. M. Jahn.

T5-P07

イタリア・フィネロ苦鉄質-超苦鉄質岩体中の流体反応プロセスとその規模. 森下知晃・鈴木敬人・ザネッティ アルベルト・田村明弘・マズッケリ モウリシオ・ティエポロ マッシモ・芳川雅子

T5-P08

オマーンオフィオライト底部かんらん岩の記載岩石学. 石丸聡子・荒井章司・田村明弘・Khedr Mohamed Zaki・Python Marie

T5-P09

三重県松阪飯高コアを構成する中央構造線カタクレーサイト中の変形の進展に伴う元素移動. 渡部悠登・竹下 徹・重松紀生・藤本光一郎・ピトン マリ

T5-P10

チャート岩体中に発達する鏡肌の成因. 安東淳一・早坂康隆・西脇隆文

T5-P11

有馬温泉水の起源：微量元素組成からの制約. 富士田祥之・中村仁美・楠田千穂・岩森 光

T5-P12

蛇紋岩の透水率異方性と沈み込み帯での流体移動. 片山郁夫・川野誠也・岡崎啓史

T9. 地質情報の利活用

T9-P-1

地層のはぎ取り標本作製による露頭の保存-新期御岳火山起源の降下テフラの例-. 竹下欣宏・北澤夏樹・寺平 宏

T9-P-2

地質情報の提供の取り組み：日本の自然放射線量マップを例として. 内藤一樹・今井 登

T9-P-3

PCを利用した野外調査の可能性と課題. 吉川敏之

T11. 平野地質：堆積と構造

T11-P-1

堆積物供給量の違いによる最大海氾濫面の年代差-首都圏沖積層の例-. 小松原純子・中島 礼・木村克己・石原与四郎・内田昌男

T11-P-2

越後平野沖積層の堆積様式と堆積速度. 船引彩子・宮地良典・卜部厚志・鴨井幸彦

T16. 地層処分と地球科学

T16-P-1

地質環境調査で利用される専門知識の表出化 -地形・地質発達モデル構築の事例-. 新里忠史・道家涼介・安江健一・中安昭夫

T16-P-2

既存情報に基づく日本列島における活断層の活動開始時期の整理とそれに係わる不確実性の評価. 道家涼介・安江健一・中安昭夫・新里忠史・田中竹延

T16-P-3

アナログモデル実験による地質構造発達過程の三次元モデル化に関する知識の分析・整理-幌延地域の事例-. 常盤哲也・新里忠史・天野健治・赤嶺辰之介・田邊謙也・中務真志・山田泰広

T16-P-4

アナログモデル実験による北海道幌延地域の隆起評価. 中務真志・山田泰広・常盤哲也

T16-P-5

アルカリ変質を考慮した圧縮ベントナイトにおける透水係数の評価. 片岡理治・塚田 学・向井雅之・澤口拓磨・角脇三師・前田敏克・田中忠夫

T16-P-6

花崗岩を起源とした断層岩の岩石化学的研究. 亀井淳志・福士圭介・間中光雄・宮下由香里・小林健太・伊藤順一・渡部芳夫・渡邊慎吾・岩田智加

T16-P-7

物質科学的手法による低活動性断層の活動度評価手法の開発. 伊藤順一・梅田浩司・渡部芳夫・宮下由香里・間中光雄・牧野雅彦・住田達哉・堀川晴央・木村治夫・森川徳敏・石丸恒在・安江健一・丹羽正和・小林健太・亀井淳志・福士圭介

T17. 新展開沈み込み帯地震発生帯科学：付加，造構性浸食，そして陸上アナログ

T17-P-1

東北地方太平洋沖地震震源海域の濁度異常と海底地すべり. 野口拓郎・谷川 亘・林 為人・廣瀬丈洋・多田井 修・岡村慶・本多牧生・川口慎介・吉田ゆかり・高井 研・北里 洋

T17-P-2

宮城沖における反射法地震探査-東北地方太平洋沖地震緊急調査速報-. 中村恭之・野 徹雄・海宝由佳・藤江 剛・高橋成実・三浦誠一・山下幹也・尾鼻浩一郎・佐藤 壮・山本揚二郎・富士原敏也・木戸ゆかり・柏瀬憲彦・小平秀一・金田義行・朴進午・辻 健

T17-P-3

熊野沖南海トラフ巨大分岐断層周辺の浅部地質構造. 芦 寿一郎・辻 健・中村恭之・池原 研・大塚宏徳・村山雅史

T17-P-4

南海トラフ分岐断層物質の中一高速摩擦における変形組織と摩擦特性. 田中 誠・堤 昭人

T17-P-5

アラスカ、コディアック島に分布する付加体泥岩物質の中・高すべり速度における摩擦すべり強化について. 沖田正明・堤 昭人

T17-P-6

カルサイトツインによる古応力場の推定と変形構造の違いに伴う応力変化. 栄田美緒・橋本善孝・山口実華・金川久一

T17-P-7

熊野沖南海トラフ堆積物組織・粒径分布と弾性波速度：IODP NanTroSEIZEコアの例. 山口実華・橋本善孝・小松千余・林為人・高橋 学

T18. ジュラ系十

T18-P-1

南中国Xiaodong地域から産出したベルム紀中世放散虫化石群集. 伊藤 剛・Feng Qinglai・松岡 篤

T18-P-2

福島県南相馬市信田沢地域に分布する上部ジュラ系相馬中村層群析層層の堆積環境と植物化石組成. 佐藤友哉・松岡 篤

T20. 自然のめぐみとジオパーク

T20-P-1

2010年度地質の日企画「浜中誕生のひみつ！発見ジオツアー-日本地質百選・霧多布湿原」の企画と実践：地元住民に根ざした草の根的なアウトリーチ活動の重要性. 重野聖之・高井文子・石井正之・中川 充・七山 太・吉川秀樹

T20-P-2

佐渡観光とジオパークとの関わり. 佐々木 勉・宇治美徳・神蔵勝昭・市橋弥生

T20-P-3

地質観光情報の開発と地域振興への活用の試み. 花川和宏・古川陽平・伊佐幸文・池上侑花・澤川優理恵・藤原健一郎・畑中雄太・細井 淳・小畑大樹・宮川祐司・滝本春南・土屋沙亜武・園子田香織

T20-P-4

下仁田町のジオパーク活動. 関谷友彦・神戸良治・大河原順次郎

T20-P-5

山陰海岸ジオパークにおける地すべり地の活用. 先山 徹・松原典孝

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち、講演番号が抜けている講演は、「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）。

9月10日（土） コアタイム13：00-14：30 大会会館（茨苑会館 Shien-Hall）

R2. 結晶構造・結晶化学・物性・結晶成長・応用鉱物

- R2-P01**
単結晶X線回折実験によるδ-AlOOH相の高圧相転移の観察. 栗林貴弘・佐野亜沙美・長瀬敏郎
- R2-P02**
Brucite, Mg(OH)₂におけるOH伸縮振動赤外吸収ピークに及ぼす化学組成の影響. 内川珠樹・栗林貴弘・工藤康弘
- R2-P03**
天然スピネル (MgAl₂O₄) のT-O, M-O結合距離と平衡温度との関係. 長田直・栗林貴弘・長瀬敏郎
- R2-P04**
岡山県柵原鉱山および長野県大日向鉱山に産する磁鉄鉱鉱石の磁気特性. 大川真紀雄・戸高翔太・伊賀文俊
- R2-P05**
ベリクレーズ (MgO) 中に含まれる空孔の分子動力学シミュレーション. 植田康浩・三宅亮
- R2-P06**
加熱による合成オパール構造変化. 荒砂茜・奥野正幸
- R2-P07**
カソードルミネッセンスを用いたジルコンのアニーリング評価. 土屋裕太・西戸裕嗣・能美洋介
- R2-P08**
カソードルミネッセンスを用いたドロマイト中のMnイオン評価. 草野展弘・西戸裕嗣・榎尾雅人・蜷川清隆
- R2-P09**
スミソナイトのカソードルミネッセンスにおける試料温度効果. 榎尾雅人・西戸裕嗣・草野展弘・蜷川清隆
- R2-P10**
カソードルミネッセンスによる珪化木の微細組織分析. 蜷川清隆・西戸裕嗣・河野重範・野村律夫
- R2-P11**
フラックス法によるエメラルドの合成と副産物. 上野禎一・福嶋つかさ・西山恵梨・小平希望・鹿毛俊作・土橋健太郎・長澤五十六
- R2-P12**
超低熱膨張セラミックスの微細構造. 藤昇一・上原誠一郎・松村晶・海野裕人・菅原潤・服部研作

R5. 地球外物質

- R5-P02**
メリライトと斜長石の熱水変成実験：隕石母天体におけるネフェリン生成プロセス解明の試み. 市村隼・留岡和重・瀬戸雄介

R12. 海洋地質

- R12-P-1**
ベリング海パウワー海嶺基盤岩の古地磁気学的研究. 後関友裕・岡田誠
- R12-P-2**
オホーツク海底表層堆積物における花粉化石群集の平面分布. 菅谷真奈美・奥田昌明・岡田誠・坂本竜彦
- R12-P-3**
北海道南西沖日本海東縁海域の堆積作用. 片山肇・井内美

- 郎・池原研
- R12-P-4**
宮城沖日本海溝で回収した海底地震計から採取した堆積物—東北地方太平洋沖地震による海底地すべりの影響か？ 三浦亮・寺田育正・菅野真人・前川拓也・森誠一・前田洋作・小松和香・川村喜一郎・金松敏也・坂口有人・海宝由佳
- R12-P-5**
房総半島南端地域に分布する鮮新—更新統千倉層群における生物源オパール及び炭酸塩のフラックス変動. 畠山晃寿・岡田誠
- R12-P-6**
伊豆大島波浮港南東沖で発見された凹地形. 坂本泉・滝野義幸・石塚治・鬼頭毅
- R12-P-7**
天皇海山列北部から採取された海洋コアの層序と古環境解析. 米津直人・村山雅史・松崎琢也・上栗伸一・成田尚史
- R12-P-8**
南鳥島周辺の海底地質：岩石・マンガン団塊等の産状. 石井輝秋・平野直人
- R12-P-9**
海底音波探査による鹿児島県・鬼界カルデラの構造解析. 池上郁彦・清川昌一・大岩根尚・中村恭之・亀尾桂・上芝卓也
- R12-P-10**
南部マリアナトラフにおける熱水サイトの地形的特徴. 吉河秀郎・沖野郷子・浅田美穂
- R12-P-11**
IODP Exp.313 ニュージャージー陸棚掘削で得られたコア・物性データで見る堆積物の圧密過程. 大塚宏徳・Inwood Jenny・Lofi Johanna・Basile Christophe・Bjerrium Christian・Valppu Henna

R13. 堆積物（岩）の起源・組織・組成

- R13-P-1**
地球化学的にみたパレオテチス沈み込み帯における砂岩の後背地：タイ北部インタノン帯の例. 國井美幸・原英俊・足立佳子・久田健一郎・Charusiri Punya
- R13-P-2**
ジュラ系砂岩・泥岩における化学組成の差異—南部北上帯・美濃帯・秩父帯での比較—. 志賀由佳・塩見大志・石原由賀・足立佳子・吉田孝紀
- R13-P-3**
北海道天塩中川地域に分布する白亜系蝦夷層群の未成熟砂岩の起源. 浅野将・太田亨
- R13-P-4**
北海道天塩中川地域の蝦夷層群における白亜紀OAE “風化仮説”の検証. 上形由布子・太田亨
- R13-P-5**
東北日本, 上部白亜系久慈層群の碎屑性重鉱物—特に碎屑性クロムスピネルの化学組成ついて—. 西尾真由子・吉田孝紀
- R13-P-6**
神奈川県中央部, 鮮新—更新統中津層群のチャート礫の後背地. 河尻清和・柏木健司

- R13-P-7**
運搬・淘汰作用による福島県, 高瀬川河床堆積物の組成改変過程. 酒井邦裕・太田亨
- R13-P-8**
山陰地域のポケットビーチの特徴と海浜砂の地球化学的成熟度. 佐野絵里香・石賀裕明・Malick Bah Mamadou Lamine・小坏健太郎

R15. 堆積相・堆積過程

- R15-P-1**
九州黒瀬川帯西部日奈久地域の下部白亜系層序と堆積相解析. 山口温美
- R15-P-2**
新潟県新津丘陵に分布する鮮新統金津層の堆積学的検討. 知野光潤・高清水康博
- R15-P-3**
タービダイトマッドの堆積形態と内部構造の特徴化. 加瀬善洋・佐藤まろみ・西田尚央・伊藤慎
- R15-P-4**
タービダイト混合粒径砂にみられる粒径別のオリエンテーション. 宮田雄一郎
- R15-P-5**
タービダイトに伴うデブライト—泥火山起源の水中土石流堆積物との比較—. 蟹井猛宏・宮田雄一郎
- R15-P-6**
重力流堆積物基底の侵食形態の特徴：宮崎県日南層群の例. 弓真由子・石原与四郎
- R15-P-7**
塊状タービダイト砂岩の不均質性：房総半島下部更新統梅ヶ瀬層の単層解析. 戸田数馬・伊藤慎
- R15-P-8**
房総半島南端白浜層に認められる3.5 Maの相模トラフで形成された粗粒セディメントウェーブ堆積物. 伊藤慎・高山千翔・小竹信宏・津久井雅志
- R15-P-9**
常磐前弧堆積盆地の上部鮮新統堆積シーケンス中のバリア島の発達様式について. 保柳康一・畑中彩・柳沢幸夫
- R15-P-10**
前浜／上部外浜堆積物のトレンチ・ジオスライサー調査. 市原季彦
- R15-P-11**
筑後川河口底質コア試料に対する堆積学的検討. 稲崎富士・鎌滝孝信・新井孝志
- R15-P-12**
2011年東北地方太平洋沖地震津波に伴う茨城県大洗町市街地における土砂移動と浸水域との関係. 新井翔太・伊藤孝・牧野泰彦・七山太
- R15-P-13**
砂層・泥層中の気泡の発生と移動による地層の破壊. 佐々木政和・宮田雄一郎
- R15-P-14**
相対的海水準変動に対応した浅海堆積相の空間分布：造波水槽実

*R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.

*プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

*日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち, 講演番号が抜けている講演は, 「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です (9/9 [金]のエントリー講演を参照のこと).

■9月10日（土） コアタイム13：00-14：30 大学会館（茨苑会館 Shien-Hall）

験 山口直文・関口智寛

R15-P-15

デルタ前縁の差別的水深に応答する分流チャネル系のオートサイクリシティ：水槽実験 苗 暉・武藤鉄司・パーカー ゲイリー

R19. テクトニクス

R19-P-1

2011年東日本太平洋沖地震にともなう深層地下水変動 大槻憲四郎

R19-P-2

呉羽山断層帯海域部の音波探査と陸域との接続関係 竹内章・野 徹雄・楠本成寿・渡辺 了

R19-P-3

和泉層群に見られるランダムな方向のスランプ褶曲 小山俊之・山路 敦・佐藤活志

R19-P-4

関東山地東部の御荷鉢帯と秩父帯との関係 柳 京介・遠藤祐貴・高木秀雄

R19-P-5

島根県西部の三郡変成岩類の原岩形成年代 小原北士・大藤茂・高地吉一・折橋裕二

R19-P-6

応力解析のための高速多重逆解法とノイズ低減 佐藤活志

R19-P-7

複数応力自動決定用クラスター解析組み込み多重逆解法 山路敦・佐藤活志

R21. 情報地質

R21-P-1

愛媛県高月山花崗岩体のジルコン結晶形の数値記載 能美洋介・梶原康市

R21-P-2

流域解析による補間を用いた地球化学図とその立体表現 門脇愛・川端 豪・壺井基裕

R21-P-3

地層名検索データベースの地層名登録について 巖谷敏光・鹿野和彦・斎藤 眞

R21-P-4

地層名検索データベースの構築—ATOK用の辞書ファイルの試験公開— 巖谷敏光・鹿野和彦

R21-P-5

掘削コア試料の3次元デジタルイメージングサービス 久光敏夫・山際伸一・タタイ デパスカル アレハンドロ

R22. 環境地質

R22-P-1

琵琶湖高島沖ボーリングコア中の生物源シリカ含有率から復元された過去約4.6万年間の古気温変遷史 村越貴之・中西俊貴・岩本直哉・天野敦子・井上卓彦・喜岡 新・井内美郎

R22-P-2

霞ヶ浦の環境変化と珪藻群集変化 知中雄太・納谷友規・齊藤

直・天野一男

R22-P-3

牛久沼における湖底堆積物中の珪藻群集変化 廣瀬祐樹・納谷友規・天野一男

R22-P-4

OSL法による活断層年代測定 清水 聡・鴈澤好博

R22-P-5

八ヶ岳および浅間山起源の火山灰土壌における重金属吸着能力の検討 太田萌美

R22-P-6

埼玉県所沢市三ヶ島地区における地下水長期連続観測結果 玉利吉朗・小林裕介・井上太郎・井内美郎

R22-P-7

九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境—大網白里町南部の調査結果から— 風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・高梨祐司

R22-P-8

九十九里の前浜で発見された嫌氣的メタン酸化アーキアとその地質環境 吉田 剛・風岡 修・竹内美緒・楠田 隆・古野邦雄・香川 淳・酒井 豊

R22-P-9

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に伴う温泉湧出異常と東北地方南部の構造運動 川辺孝幸・中野啓二

R22-P-10

山形盆地における平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震による石造鳥居の被害と1964年新潟地震による被害の比較 川辺孝幸・佐々木 愛・大沼由佳

R22-P-11

房総半島でみられた2011年東北地方太平洋沖地震およびその余震による液状化—流動化現象—利根川下流低地と九十九里平野— 楠田 隆・風岡 修・香川 淳・古野邦雄・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・高梨祐司

R22-P-12

東北地方太平洋沖地震の九十九里海岸の津波堆積物と海岸変化 岡崎浩子・大木淳一

R23. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造

R23-P-1

長久保地すべりににおける地質構造と水質分析 室田真宏・岩田恭志・戸上 学

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち、講演番号が抜けている講演は、「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）。

T6. 火成作用と流体

T6-P01

オーストラリア南東部Dromedary火成岩体のMount Dromedary プルトンの閃長岩とモンゾニ岩に含まれる放射性鉱物の記載岩石学的研究。佐藤 桂・Ellis David・Christy Andrew, G.

T12. 地球史イベント大事件6：
地球環境変動の鍵を地層から読み取る！

T12-P-1

美濃帯の上部三畳系遠洋性堆積岩中に記録された天体衝突の証拠。佐藤峰南・尾上哲治・中村智樹・野口高明・初川雄一・大澤崇人・小泉光生・藤 暢輔・海老原 充

T12-P-2

トリアス-ジュラ紀の深海堆積物の付加するメカニズムの解明と海洋プレートの歴史-岐阜県犬山地域木曾川沿いの例-。藤崎 渉・武田光隆・山本伸次・宮原ひろ子・片岡龍峰・齊藤拓也・中根布美子・力石祐介・小笠博貴・丸山茂徳

T13. ジルコンとマルチクロノロジー

T13-P-1

飛騨山脈の花崗岩質岩のジルコンを用いたLA-ICP-MSによるU-Pb年代測定。伊藤久敏・田村明弘・森下知晃・荒井章司

T13-P-2

紀伊半島の瀬戸内珪長質火山岩のジルコンU-Pb年代。新正裕尚・折橋裕二・岩野英樹・檀原 徹

T13-P-3

跡津川断層真川露頭のシュートタキライトの産状とフィッシュオントラック年代。筒井宏輔・高木秀雄・新井宏嘉・岩野英樹・檀原 徹

T13-P-4

ジルコンスタンダード候補試料のマルチ年代データ比較。岩野英樹・折橋裕二・小笠原正継

T19. 関東平野の更新統とテクトニクス

T19-P-1

東京都世田谷区で掘削されたボーリングコアCRE-NUCHS-1の堆積層と堆積物性。船引彩子・名古屋啓太・金木厚憲・植村杏太・栗原美貴・小原晴香・後藤 翠・千葉 崇・納谷友規・植木岳雪・竹村貴人

T19-P-2

大宮台地北部の大宮層におけるテフラ層序と堆積環境。納谷友規・水野清秀・古澤明

T19-P-3

東京都三鷹市、井の頭公園地下における前期更新世テフロクロノロジー。青木 拓・鈴木毅彦・村田昌則・川島眞一・川合将文

T19-P-4

下部更新統犬伏層群小浜層中に挟在するテフラに基づく周辺地域の火山活動の推定。村田昌則・鈴木毅彦

R3. 高压科学・地球深部

R3-P01

FeTiO₃の高压高温相転移とFeTi₃O₇相の構造。浜根大輔・

Zhang Meiguang・八木健彦・Yanming Ma

R3-P02

カンラン石-斜方輝石間の水の分配におけるFe・Alの効果。櫻井 萌・辻野典秀・高橋栄一・河村雄行

R3-P03

黒雲母固溶体-熱水溶液間のNi-Co分配。古川 登

R3-P04

高压X線マイクロCTを用いた吸収密度測定。中塚明日美・浦川啓・寺崎英紀・舟越賢一・上杉健太郎

R3-P05

含水石英ガラスの構造：X線回折実験の結果。浦川 啓・神崎正美・小原真司・舟越賢一・三部賢治

R4. 地球表層・環境・生命

R4-P01

ベトナムドンタップ省タイ島の堆積物・地下水解析から示唆されるメコン川流域のヒ素汚染メカニズム。和澄利美・赤井純治

R4-P02

自然金表面のバクテリア形態構造物のFIB-TEM観察。赤井純治・市橋弥生・小暮敏博

R4-P03

Superstructure in sulfur-containing calcite in a travertine carbonate rock。Hye-jin Kim・Jinwook Kim・Toshihiro Kogure

R4-P04

新生代化石ココリスの結晶方位解析。猿渡和子・萩野恭子・長澤寛道・小暮敏博

R4-P05

NanoからMicroスケールでのサンゴ骨格の微細組織観察。饒聡子・永井隆哉・岨 康輝・渡邊 剛

R4-P06

初期地球環境下での玄武岩質岩の風化変質について。藤高志帆・小林祥一・猶原 順

R7. 岩石・鉱物・鉱床学一般

R7-P-1

花崗岩冷却のP/T条件と鉱化作用の関係（1）-遠野・栗橋・蟹岳岩体について-。高橋俊仁・中島和夫

R7-P-2

花崗岩冷却のP/T条件と鉱化作用の関係（2）-南部北上地域のいくつかの岩体について-。高橋宏文・中島和夫

R7-P-3

島根県松江市和久羅山アイサイトの岩石・鉱物学的研究。佐藤大介・松本一郎

R7-P-4

蛇紋岩マイロナイト中の鉄に富んだアンチゴライト。曾田祐介・森下知晃

R7-P-5

夜久野オフィオライトのジルコンのSHRIMP U-Pb年代とREE組成。木村光佑・早坂康隆・隅田祥光

R7-P-6

新鉱物「千葉石」の地質環境。高橋直樹・伊左治鎮司・門馬綱

一

R7-P-7

北海道、白亜紀-第三紀花崗岩類に伴う電気石の地球化学的特徴。福地伸章・木村太郎・松枝大治

R7-P-8

スイフト社製メカニカルステージを再利用したモード測定システム。棟上俊二

R9. 変成岩とテクトニクス

R9-P-1

始生代インド南部ダールワール岩体の変成作用プロセス。外田智千・Satish-Kumar M.・Nasheeth Abdulla・上野雄一郎・山崎里英・奥平敬元・白石和行

R9-P-2

南インドの先カンブリア代の縫合帯の花崗岩類とチャーノックイトのジルコンU-Pb年代：プレートテクトニクス周期に関連した火成活動の履歴。佐藤 桂・M.Santosh・平田岳史

R9-P-3

ゴンドワナ造山帯に産出する高压グラニュライトの温度圧力経路：南インドおよび東南極の例。齋藤陽介・角替敏昭

R9-P-4

北中国地塊・内モンゴル縫合帯に産出する超高温変成岩の温度圧力履歴。清水恒子・角替敏昭・Santosh M.

R9-P-5

オマーンオフィオライト北部フィズ岩体のメタモルフィックソールにおける接触変成作用。森 菜美子・高澤栄一

R9-P-6

西アルプスLago di Cignana地域の変堆積岩中の白雲母K-Ar年代。中野豪士・郷津知太郎・八木公史

R9-P-7

北海道日高変成帯南部、キブチ川地域における変成岩類・深成岩類の地質-特に逆転構造と転倒褶曲について-。西谷真也・豊島剛志

R9-P-8

出雲大東地域のSpl+Qtz+And共生を持つ変成岩の成因。郷田翔一・志村俊昭・石原舜三

R9-P-9

跡倉ナップからみた本州中部のテクトニクス。小野 晃

R9-P-10

黒瀬川帯に産する青色片岩の原岩形成場と西南日本の形成テクトニクス。吉本 紋・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・米村和紘・石塚英男

R9-P-11

九州八代地方黒瀬川帯小田尾ユニットの変成分帯。上村謙一郎・平島崇男・藤本善航

R9-P-12

四国中央部・三波川帯の大規模褶曲。森 宏・ウォリス サイモン

R9-P-13

三波川帯赤石超マフィック岩体の上昇時に形成されたアンチゴライト剪断構造。横山寛紀・水上知行・荒井章司

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち、講演番号が抜けている講演は、「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です（9/9〔金〕のエントリー講演を参照のこと）。

■9月11日（日） コアタイム13：00-14：30 大会会館（茨苑会館 Shien-Hall）

R9-P-14

沈み込み帯前弧ウェッジマントルにおけるAntigorite CPOパターン - 三波川変成帯 東赤石岩体の例. **西井 彩**・ウォリス サイモン・水上知行・道林克禎

R9-P-15

西南日本外帯の地磁気ダイポール異常を示す蛇紋岩の組織と岩石磁気特性. **山口はるか**・平内健一・木戸ゆかり

R9-P-16

確率論的温度圧力経路推定法の開発. **桑谷 立**・永田賢二・岡田真人・鳥海光弘

R14. 炭酸塩岩の起源と地球環境

R14-P-1

北中国山東省の中部カンブリア系微生物炭酸塩岩の特性. **小谷 綾香**・江崎洋一・足立奈津子・劉 建波

R14-P-2

南中国のオルドビス紀前期礁システム—骨格生物礁の初期進化の解明—. **足立奈津子**・劉 建波・江崎洋一

R14-P-3

南部中国揚子炭酸塩プラットフォーム, 宗地セクションの石炭系 Bashkirian—Moscovian境界. **上野勝美**・浜地桂史・早川直樹・星木勇作・篠原三樹雄・中澤 務・王 玥・王 向東

R14-P-4

中国南東部におけるペルム紀末の生物大量絶滅直後の微生物岩の組織変化と海洋環境の変動. **淺田雄哉**・江崎洋一・劉 建波・足立奈津子

R14-P-5

Key speciesを用いたサンゴ礁生態系の復元. **本郷宙軌**・茅根 創

R16. 石油・石炭地質学と有機地球化学

R16-P-1

熱拡散モデルによる和泉山脈地域の上部白亜系和泉層群の被熱史の復元. **清家一馬**・岩野英樹・檀原 徹・平野弘道

R17. 岩石・鉱物の破壊と変形

R17-P-1

岩石の熱伝導率測定における間隙水圧の影響. **多田井 修**・林 為人・廣瀬丈洋・谷川 亘・向吉秀樹

R17-P-2

超微小硬度計を用いた変成岩中の力学的不均一性の測定. **大森 康智**・増田俊明

R17-P-3

脆性—塑性遷移条件下における石英の割れと細粒化. **福田惇一**

R17-P-4

新潟県北部の日本国マイロナイト帯におけるマイロナイト化作用. **佐藤由紀**・豊島剛志

R17-P-5

福島県川内村鍋倉川流域の花崗岩類とマイロナイト化作用. **福地里菜**・大友幸子

R17-P-6

愛媛県中央構造線湯谷口露頭のシュードタキライトを伴う断層岩

類の産状と剪断センス. **相馬麻衣**・高木秀雄

R18. 付加体

R18-P-1

足尾帯ジュラ紀付加体におけるユニット境界断層の性状と付加過程における役割. **鎌田祥仁**・鈴木孝明

R18-P-2

流体包有物を用いたジュラ紀付加体の温度・圧力条件: 玖珂層群を例にして. **小林雅義**・鎌田祥仁

R20. 古生物

R20-P-1

埼玉県横瀬地域の秩父帯北帯から得られたジュラ紀放射虫化石. **松岡喜久次**

R20-P-2

モンゴル南東部, ゴビ砂漠における湖成堆積物中のジュラ系—下部白亜系カイエビの古生物学的研究. **村田崇行**・Li Gang・安藤寿男・長谷川 精・長谷川 卓・太田 亨・山本正伸・長谷部徳子・Ichinnorov Niiden

R20-P-3

下部白亜系手取層群北谷層のスポン上科カメ類とその意義. **藪田哲平**・東 洋一・平山 廉・安藤寿男

R20-P-4

静岡県中新統女神石灰岩からTurbo (Marmarostoma) histrio Reeve の産出とその古生物地理学的意義. **富田 進**・門田真人・井上恵介

R20-P-5

ニュージーランド沖カンタベリー堆積盆におけるIODP Exp. 317で掘削された陸棚コア中の貝形虫化石と古環境変遷. **石田 桂**・楠 慧子・大井剛志・河潟俊吾・統合国際海洋掘削計画第317次航海乗船研究者

R20-P-6

過去60万年間にわたる古カトマンズ湖の浮遊性・底生珪藻群集の生産性・種多様性の比較研究. **林 辰弥**・谷村好洋・藤井理恵・酒井治孝

R20-P-7

2010年に北海道石狩湾沿岸で見られた暖流系貝類. **鈴木明彦**

R24. 地学教育・地学史

R24-P-1

学校の石材が語る地域地質および地域産業 ～北海道地方の例～. **大木淳一**

R24-P-2

アメリカの博物館における地学普及教育の事例と活用. **安曾潤子**

R24-P-3

2011年新燃岳噴火と博物館実験授業の効果. **笠間友博**

R25. 第四紀地質

R25-P-1

群馬県北部, 丸沼湖底堆積物にみられる洪水イベント. **行木勝彦**

R25-P-2

長野県下野尻湖における音波探査記録反射面から推定した湖水面変動史. **中村祐貴**・井上卓彦・近藤洋一・井内美郎

R25-P-3

静岡県伊東市のボーリングコア中の完新世貝形虫群集とその意義. **入月俊明**・大林 巖・藤原 治・平川一臣・長谷川四郎・内田淳一・阿部恒平

R25-P-4

濃尾平野臨海部鍋田における沖積層下部のテフラ分析. **牧野内猛**・檀原 徹・堀 和明・野々垣 徹

R25-P-5

河内平野南部の完新統花粉層序. **渡辺正巳**

R25-P-6

琵琶湖湖底堆積物の高分解能生物源シリカ濃度プロファイルに示される過去約4.6万年間の気温変動周期性. **井内美郎**・根上裕成・喜岡 新・公文富士夫

R25-P-7

琵琶湖高島沖ボーリングコア中の生物源シリカ含有率から推定される過去約15万年間の古気候変遷. **根上裕成**・中西俊貴・喜岡新・中村祐貴・岩本直哉・井内美郎

R25-P-8

有孔虫群集からみた宍道湖の環境変動 (再検討). **野村律夫**・河野重範・辻本 彰

R25-P-9

年縞堆積物に挟まれる崩壊および洪水起源の重力流堆積物の堆積過程: 岡山県更新統湖成蒜山原層の例. **佐々木泰典**・弓 真由子・瀧井喜和子・齋藤めぐみ・成瀬 元・石原与四郎

R25-P-10

岡山県児島湾奥部のメイオベントス (貝形虫・有孔虫) 群集と内湾環境. **河野重範**・辻本 彰・野村律夫・福田賢一・入月俊明

R25-P-11

コンパクトAMSを使用した放射性炭素測定について ～山形大学 高感度加速器質量分析センターの場合～. **加藤和浩**・門叶冬樹・庵下 稔・和泉彰紘

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのセッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.

※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

※日本鉱物科学会扱いのポスターセッションのうち, 講演番号が抜けている講演は, 「日本鉱物科学会ポスター発表賞」へのエントリー講演です (9/9 [金]のエントリー講演を参照のこと).